

令和4年度病床機能報告結果（圏域別）

東京都保健医療局医療政策部

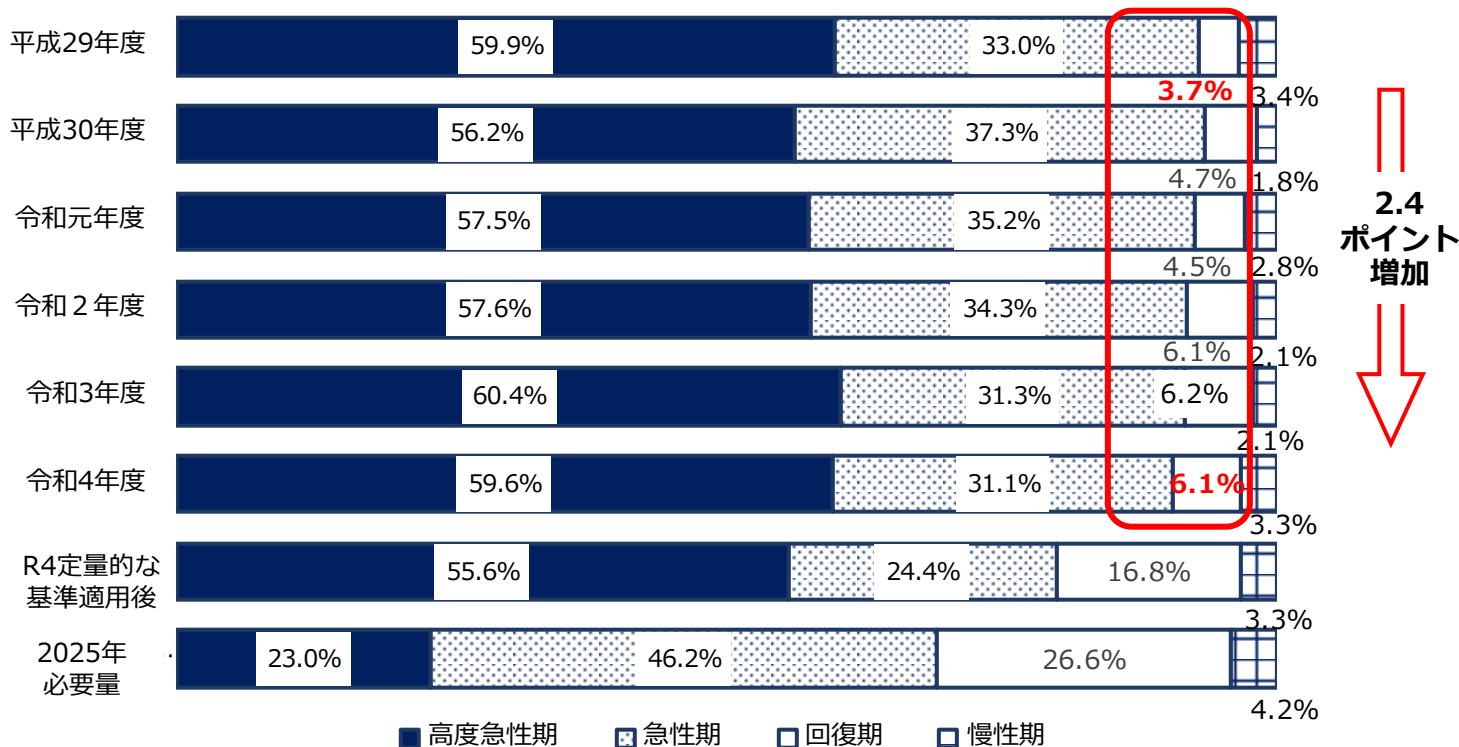
目次

区中央部	2
区南部	6
区西南部	10
区西部	14
区西北部	18
区東北部	22
区東部	26
西多摩	30
南多摩	34
北多摩西部	38
北多摩南部	42
北多摩北部	46

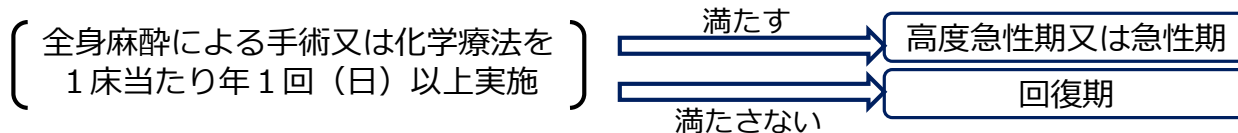
【区中央部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 2.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

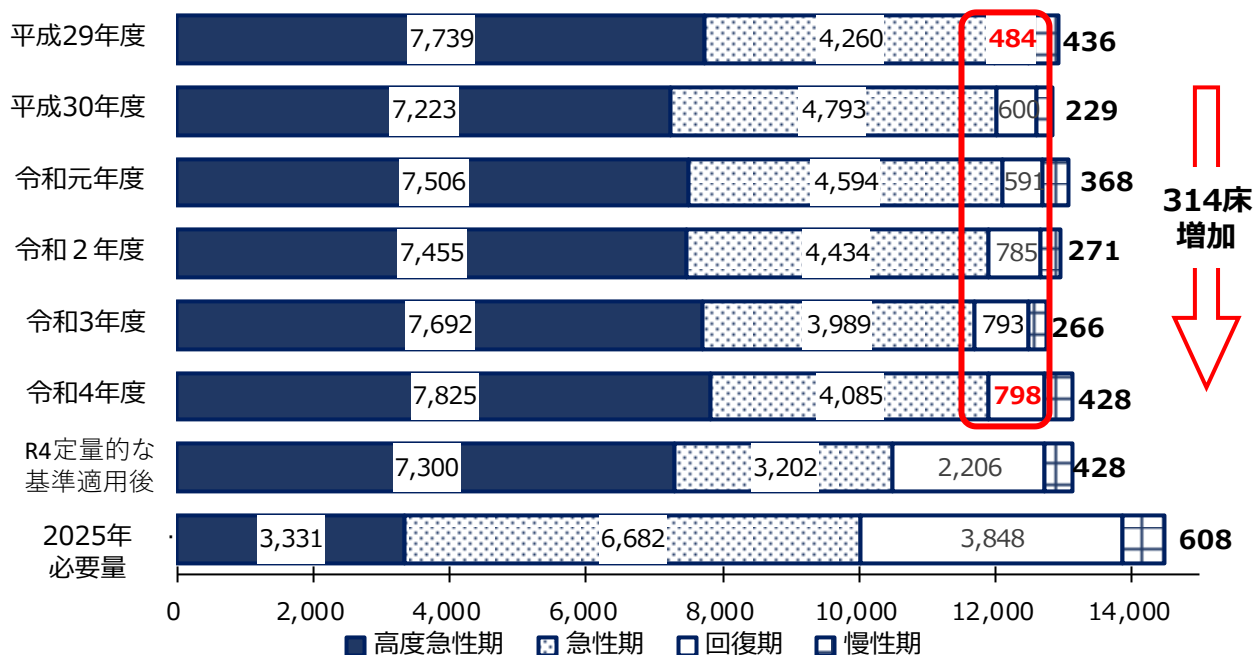


（出所）病床機能報告より作成

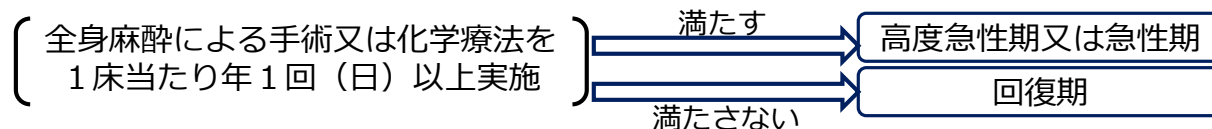
【区中央部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では314床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区中央部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 2施設 22床 入院料 1 4施設 81床
入院料 4 3施設 45床 入院料 3 1施設 12床

特定集中治療室管理料

管理料 1 7施設 85床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 7施設 86床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット

入院医療管理料

管理料 1 11施設 122床
管理料 2 1施設 20床

小児特定集中治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット

入院医療管理料

3施設 21床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 15床
新生児 2施設 24床

新生児特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 14床
管理料 2 3施設 12床

新生児治療回復室

入院医療管理料

5施設 84床

特定機能病院入院基本料

7対1 6施設 4,034床

専門病院入院基本料

7対1 1施設 743床

急性期一般入院料 1

16施設 3,826床

24施設 9,736床

急性期一般入院料 2～6

10施設 417床

地域一般入院料

入院料 1・2 0施設 0床
入院料 3 3施設 215床

小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 183床
入院料 2 3施設 103床
入院料 3 2施設 72床
入院料 4 1施設 18床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 4施設 165床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 1施設 40床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 2施設 81床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 4施設 131床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 6施設 240床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 5施設 96床
入院料 2 1施設 18床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

入院料 1 1施設 20床
入院料 2 0施設 0床

有床診療所入院基本料

15施設 161床

療養病棟入院基本料

基本料 1 7施設 313床
基本料 2 0施設 0床

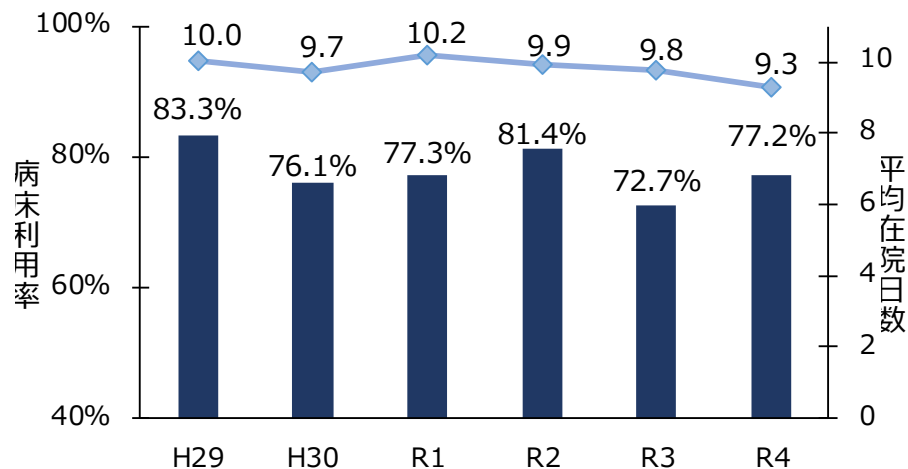
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 11床

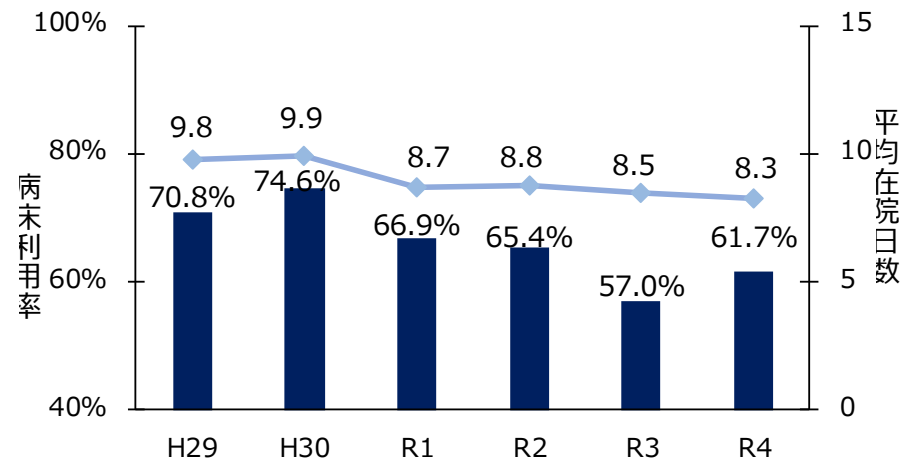
DPC/PDCS 20施設 9,037床

【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

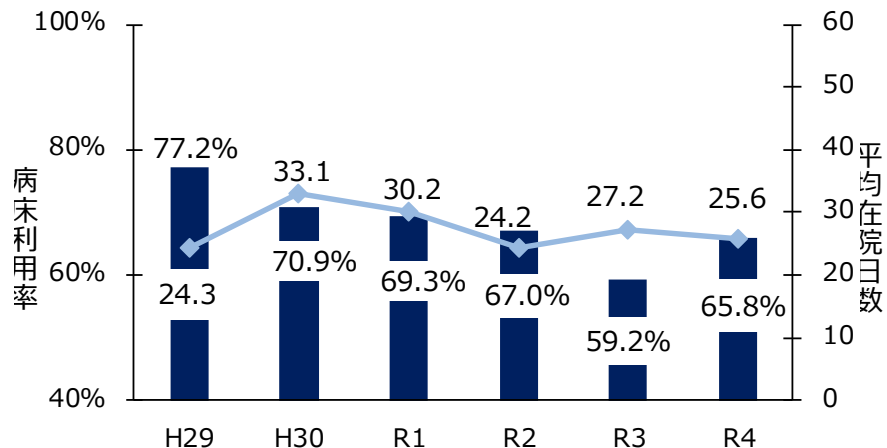
高度急性期



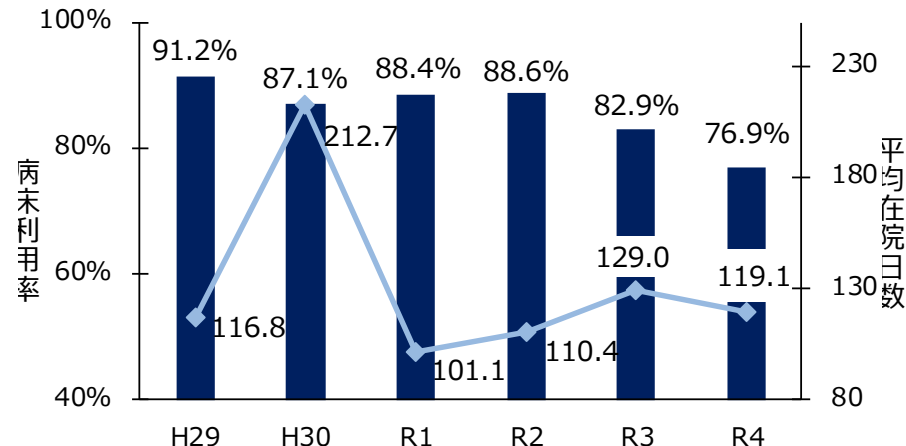
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

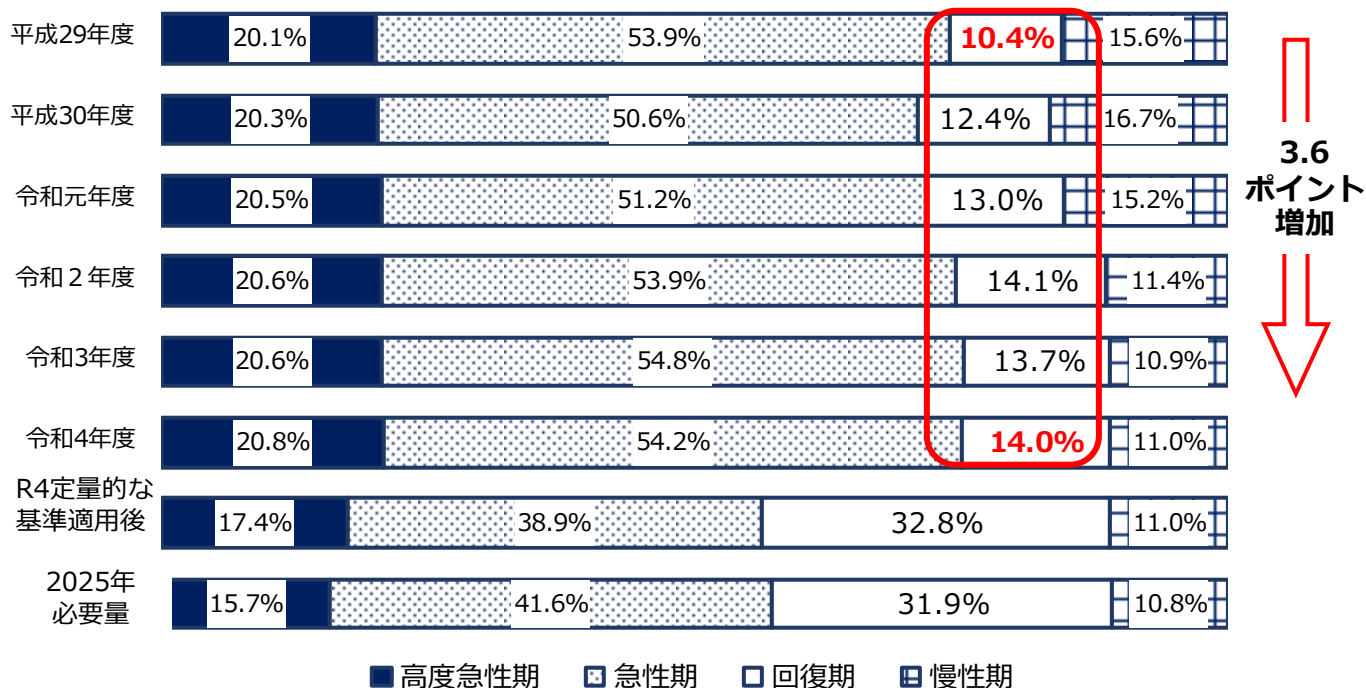
平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
 ◆ 平均在院日数（右軸）
 （出所）病床機能報告より作成

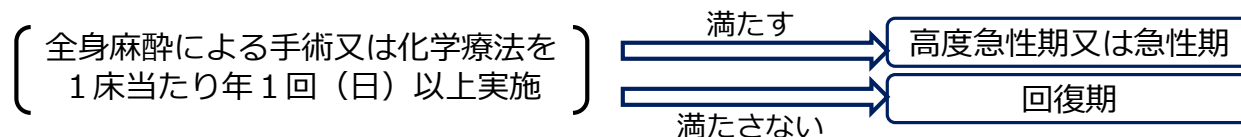
【区南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 3.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

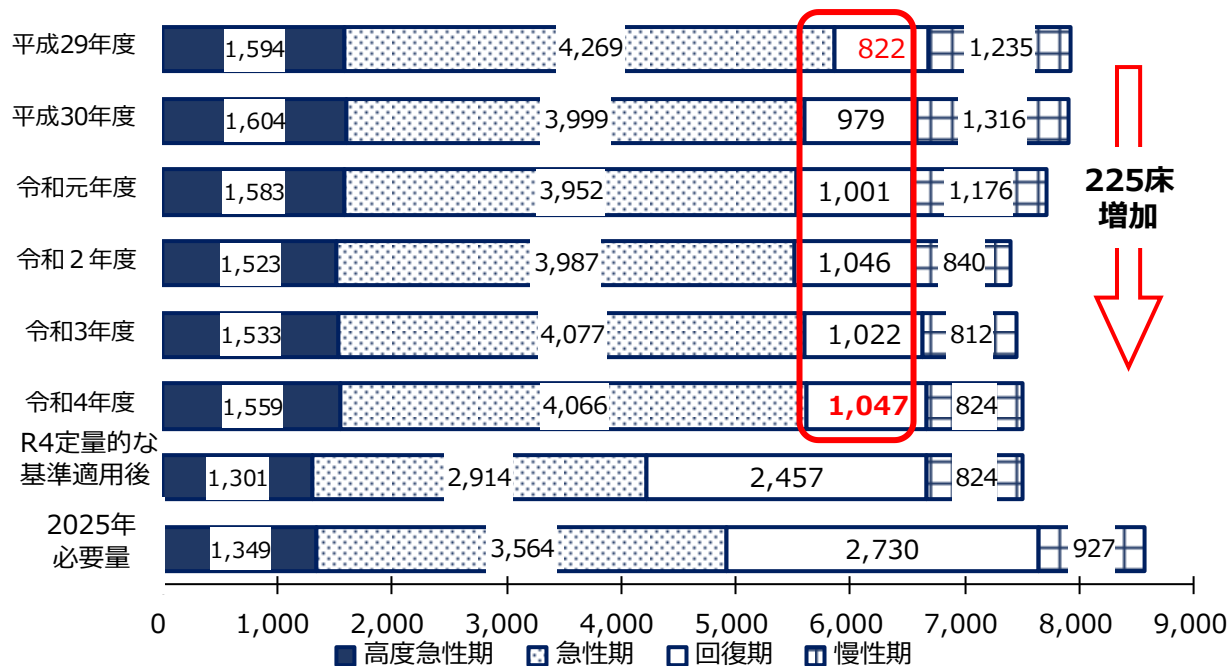


（出所）病床機能報告より作成

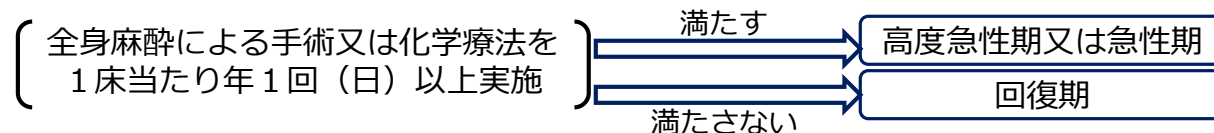
【区南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 225床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区南部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 13床
入院料 4 1施設 6床 入院料 3 1施設 14床

特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 24床
管理料 2 1施設 9床
管理料 3 6施設 64床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 8施設 128床
管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 18床
新生児 2施設 30床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 37床

特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,352床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

13施設 2,676床

15施設4,028床

急性期一般入院料 2～6

8施設 490床

地域一般入院料

入院料1・2 1施設 20床
入院料 3 3施設 83床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 112床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 1施設 10床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 6施設 620床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 1施設 84床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 4施設 174床 入院料 3 1施設 21床
入院料 2 6施設 225床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 2施設 124床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

14施設 132床

療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 580床
基本料 2 1施設 46床

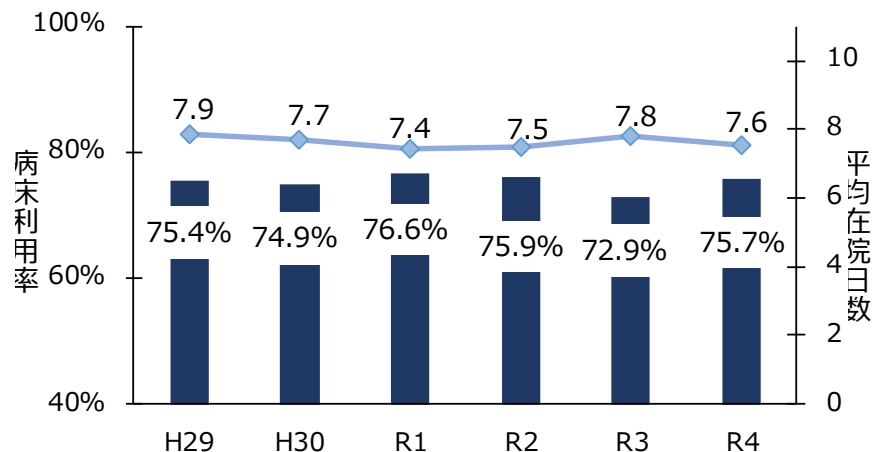
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

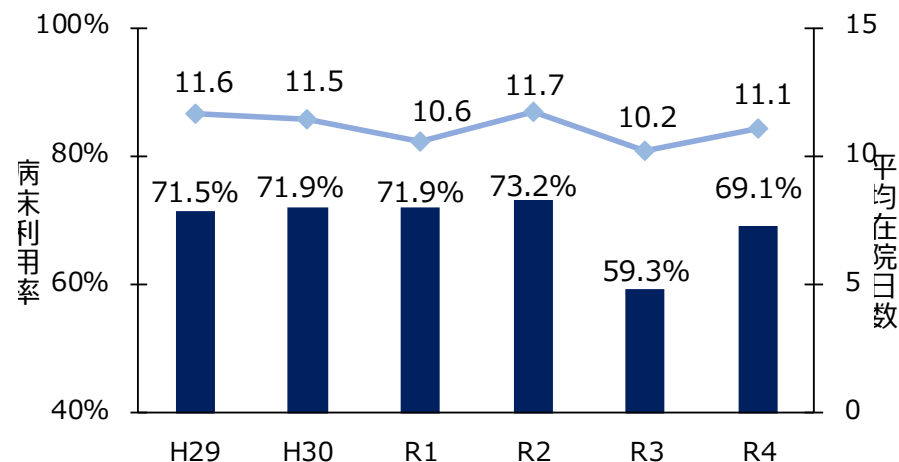
DPC/PDCS 16施設4,619床

【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

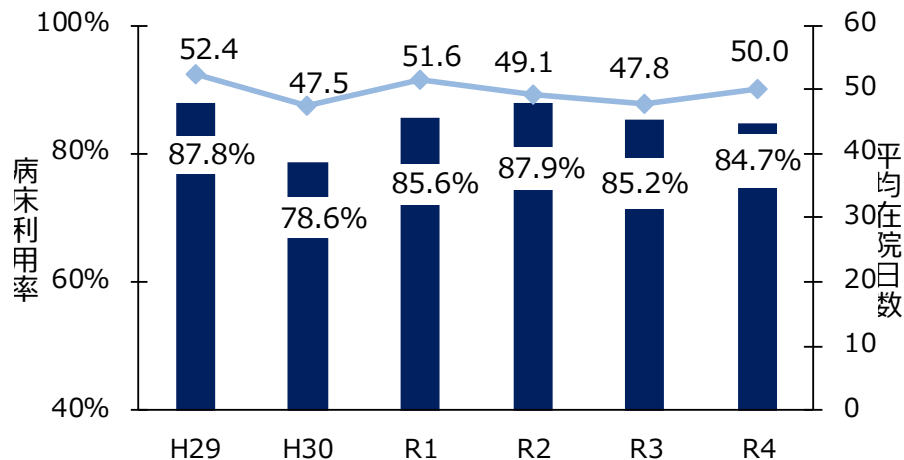
高度急性期



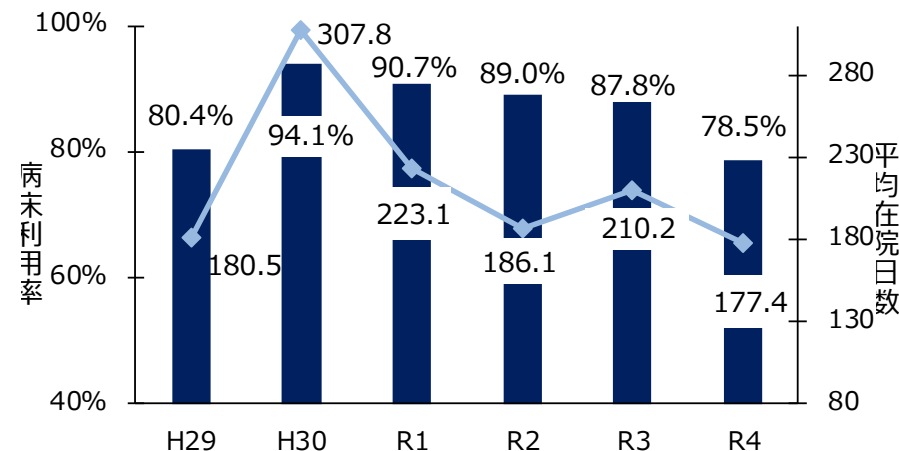
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

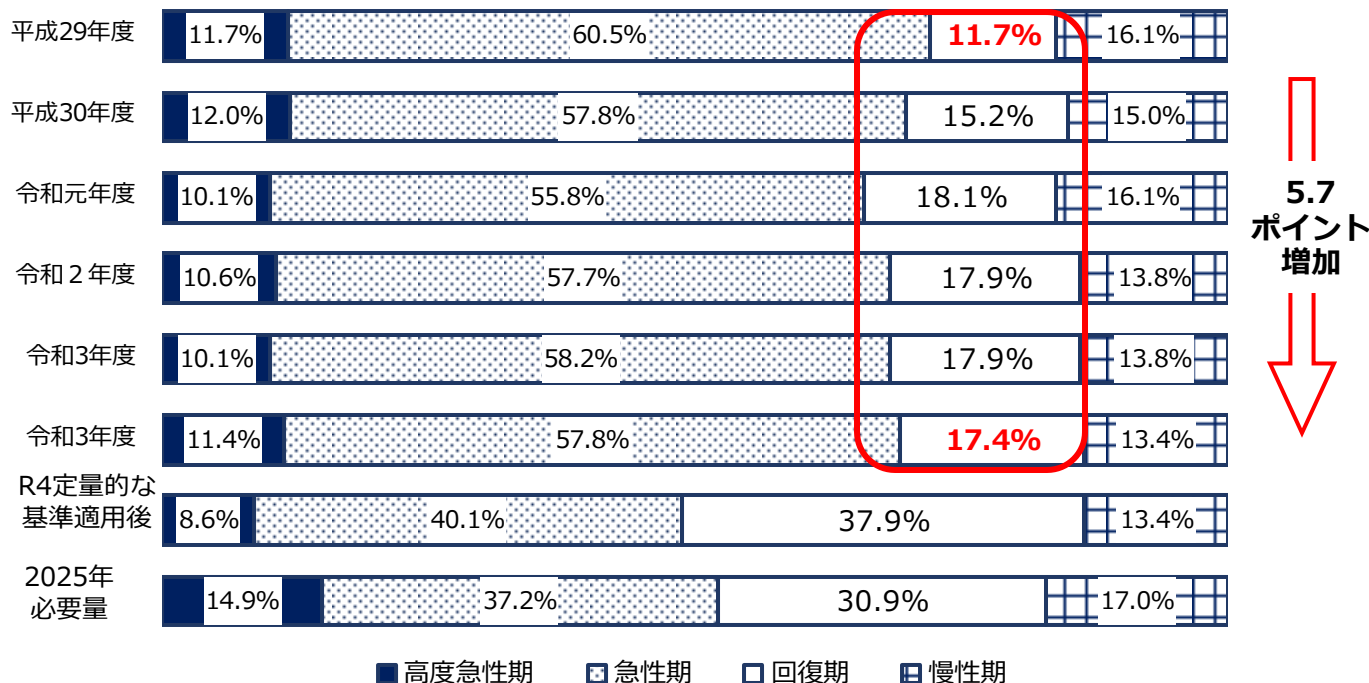
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

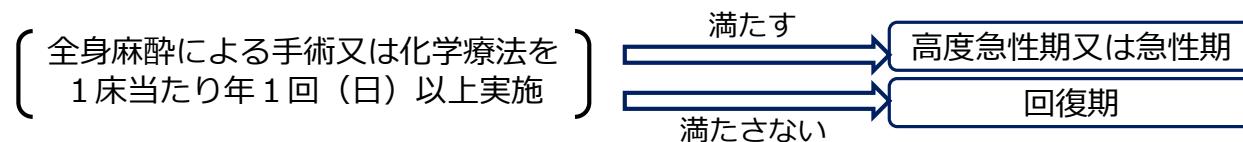
【区西南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 5.7ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

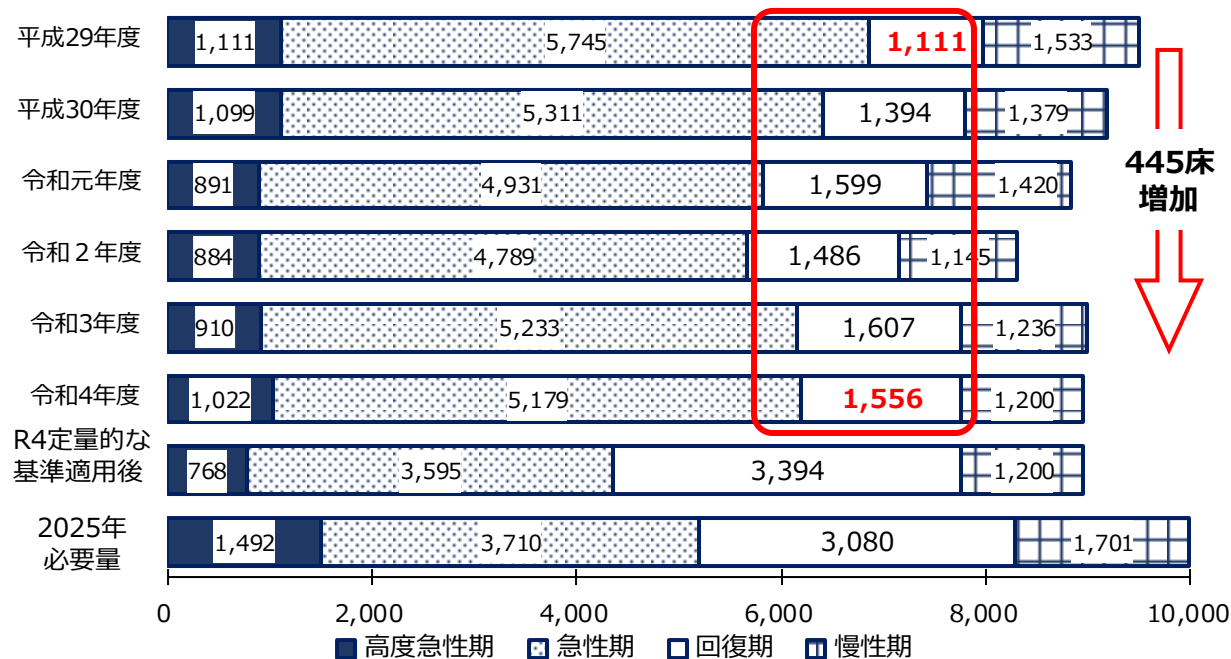


（出所）病床機能報告より作成

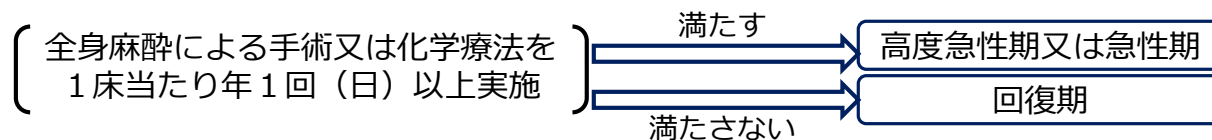
【区西南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 445床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区西南部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 6床 入院料 1 2施設 107床
入院料 4 1施設 8床 入院料 3 1施設 18床

特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 26床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 3施設 15床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット

入院医療管理料

管理料 1 3施設 24床
管理料 2 1施設 11床

小児特定集中治療室管理料

1施設 20床

脳卒中ケアユニット

入院医療管理料

2施設 18床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 12床
新生児 2施設 36床

新生児特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 1施設 3床

新生児治療回復室

入院医療管理料

2施設 58床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

14施設 3,541床

14施設3,541床

急性期一般入院料 2～6

17施設 1,056床

地域一般入院料

入院料1・2 0施設 0床
入院料 3 3施設 102床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 326床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 1施設 33床
入院料 4 1施設 10床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 7施設 811床 入院料 4 1施設 10床
入院料 2 3施設 137床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 0施設 0床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 6施設 234床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 9施設 305床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 18床
入院料 2 1施設 19床

療養病棟入院基本料

基本料 1 8施設 658床
基本料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 3施設 238床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

入院料 1 1施設 21床
入院料 2 0施設 0床

有床診療所入院基本料

22施設 243床

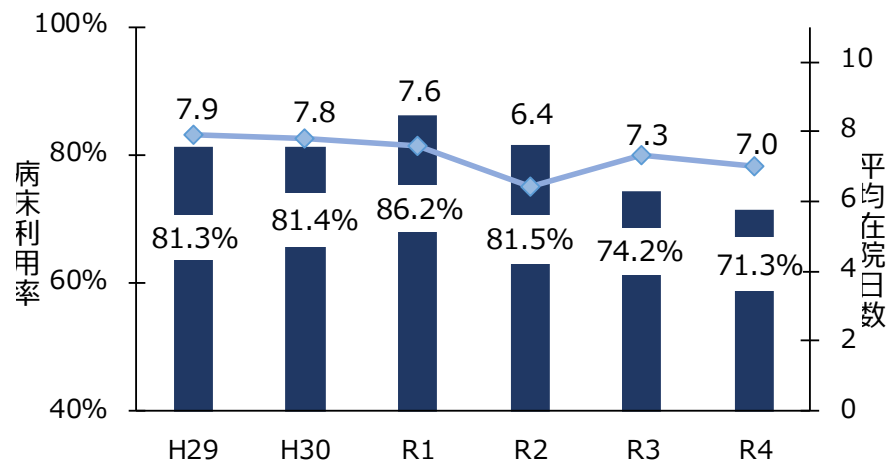
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

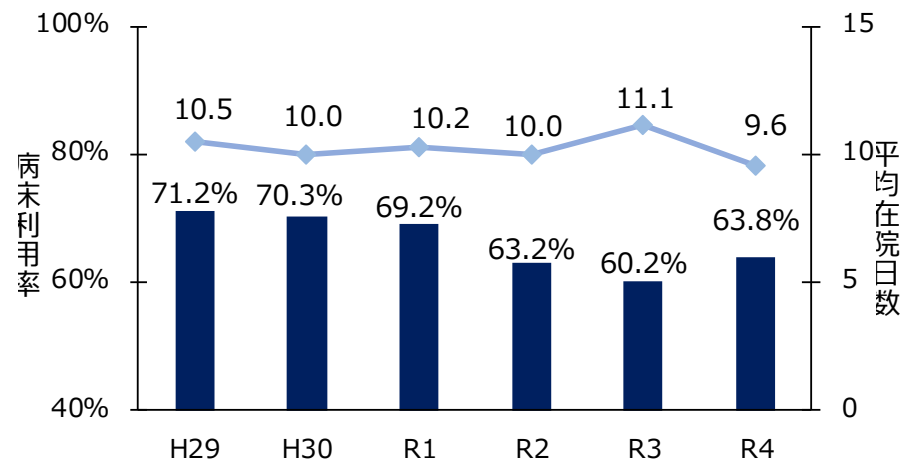
DPC/PDCS 17施設4,491床

【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

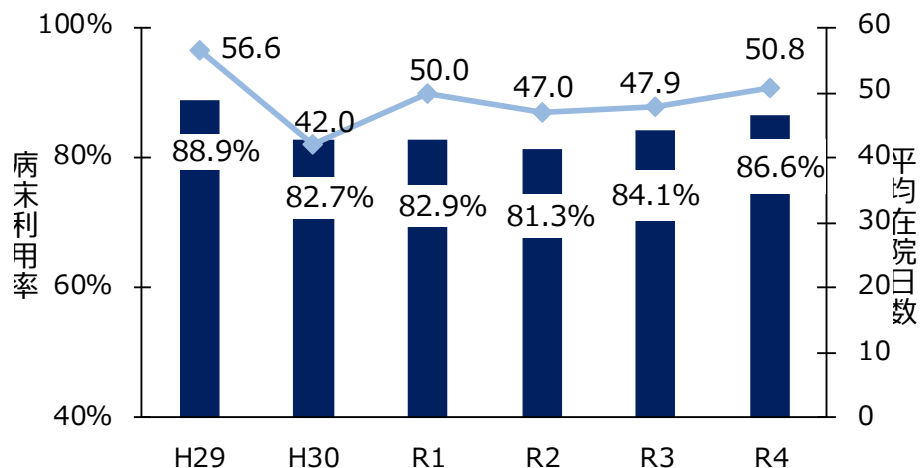
高度急性期



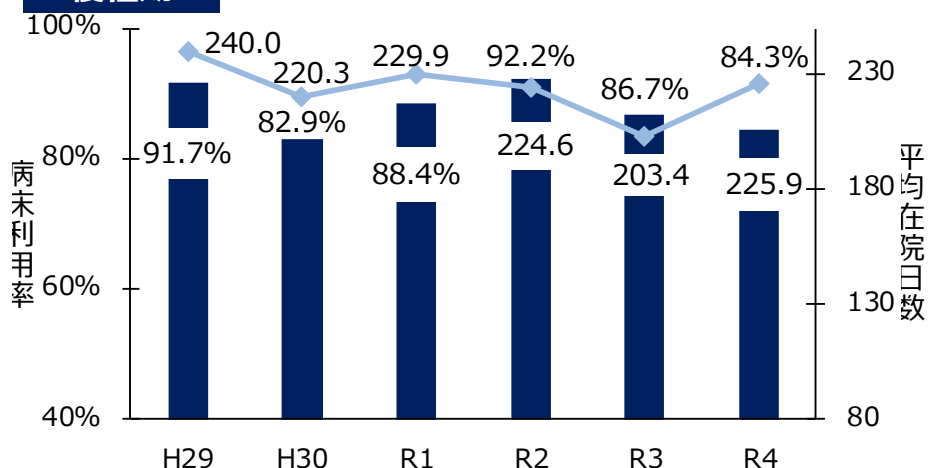
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

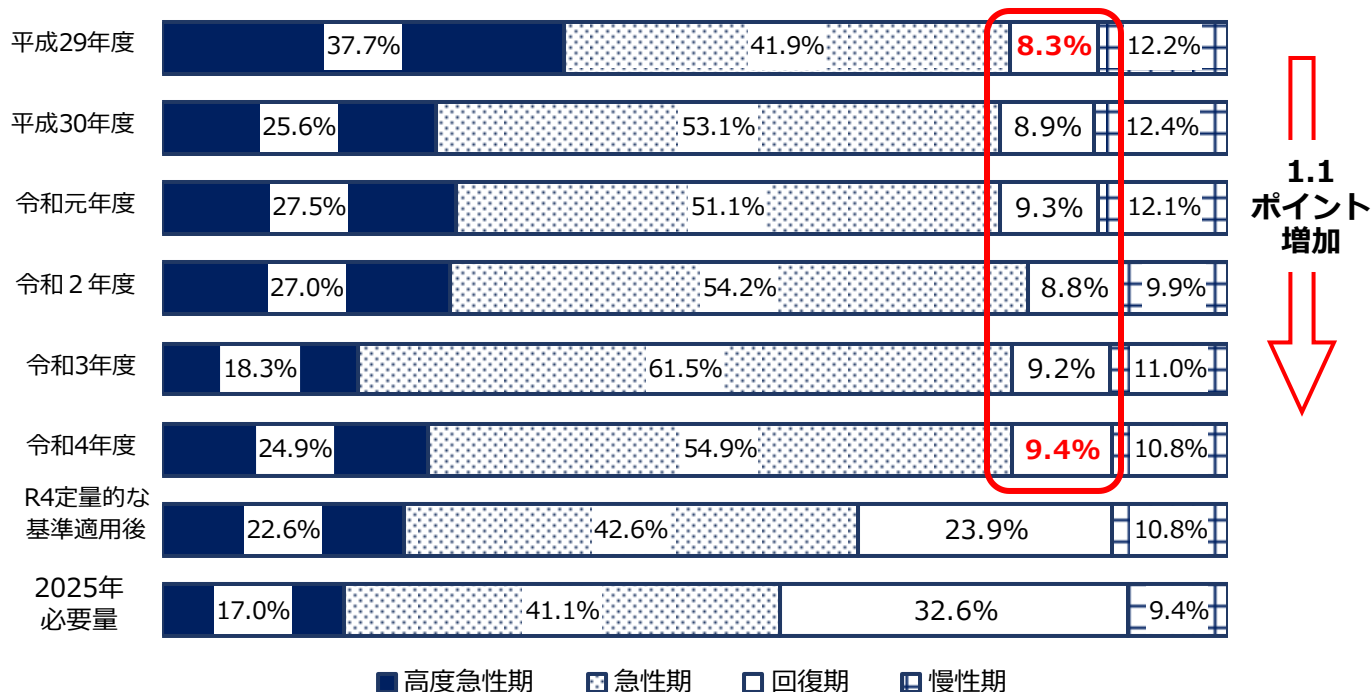
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

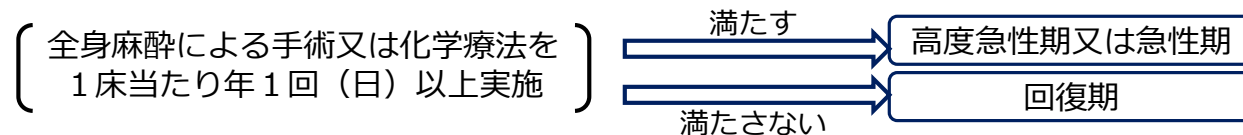
【区西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では1.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

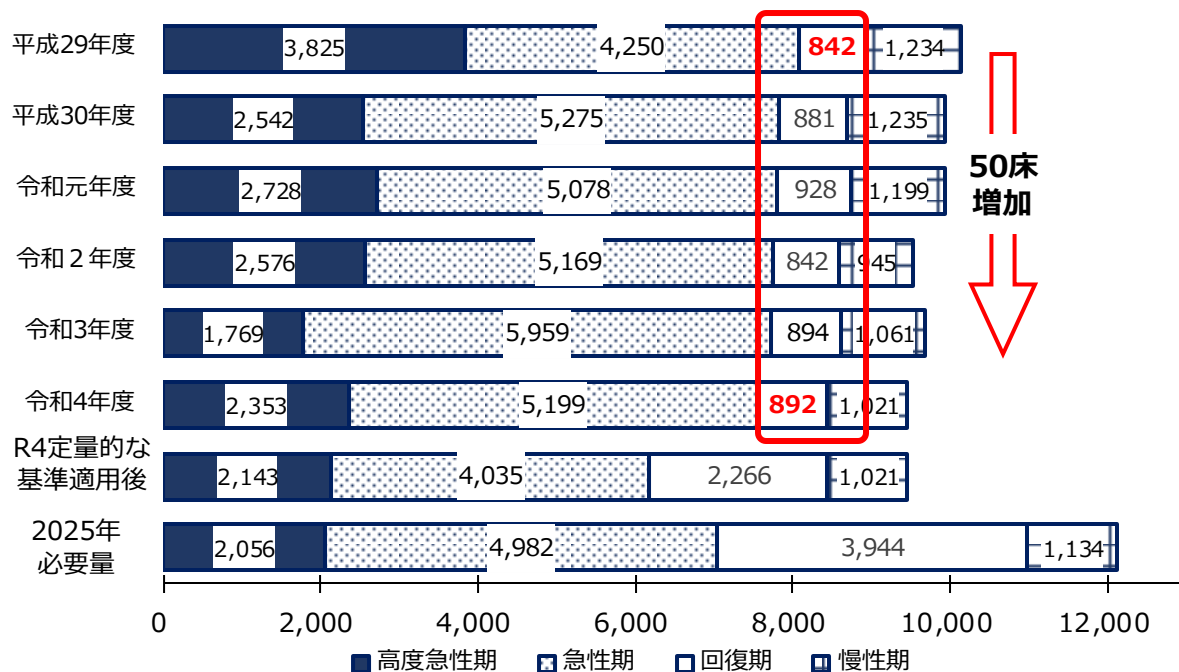


（出所）病床機能報告より作成

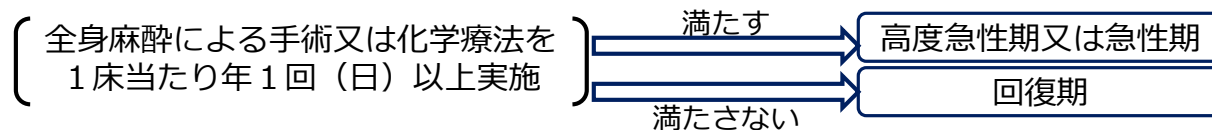
【区西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 50床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区西部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 12床 入院料 1 1施設 32床
入院料 4 1施設 20床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 4施設 58床
管理料 2 1施設 16床
管理料 3 8施設 75床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット

入院医療管理料

管理料 1 8施設 119床
管理料 2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 3施設 2,128床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

13施設 3,227床

16施設5,355床

小児特定集中治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット

入院医療管理料

3施設 38床

急性期一般入院料 2～6

9施設 400床

地域一般入院料

入院料1・2 1施設 47床
入院料 3 0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 21床
新生児 3施設 39床

新生児特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 6床
管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室

入院医療管理料
1施設 21床

小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 195床
入院料 2 1施設 6床
入院料 3 1施設 21床
入院料 4 5施設 82床

DPC/PDCS 15施設6,044床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 452床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 2施設 87床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 2施設 100床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 122床 入院料 3 1施設 32床
入院料 2 7施設 249床 入院料 4 1施設 24床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 3施設 74床
入院料 2 2施設 40床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

14施設 128床

療養病棟入院基本料

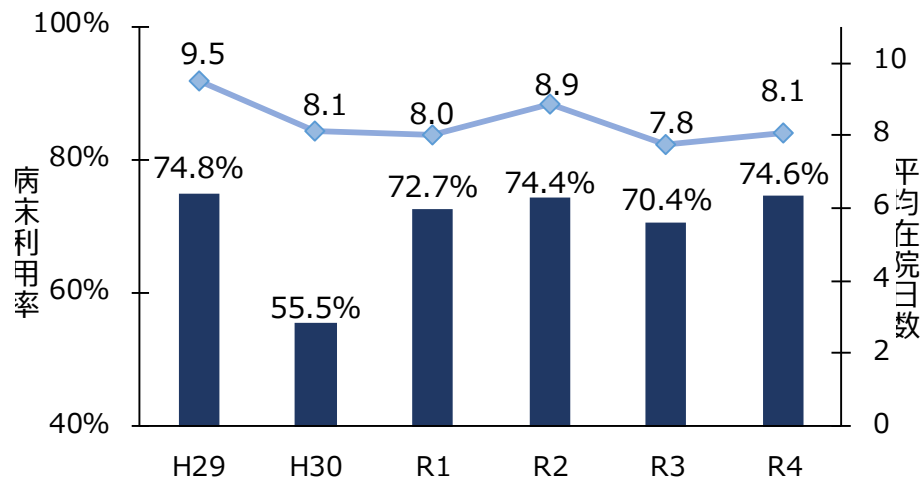
基本料 1 7施設 750床
基本料 2 1施設 97床

有床診療所療養病床入院基本料

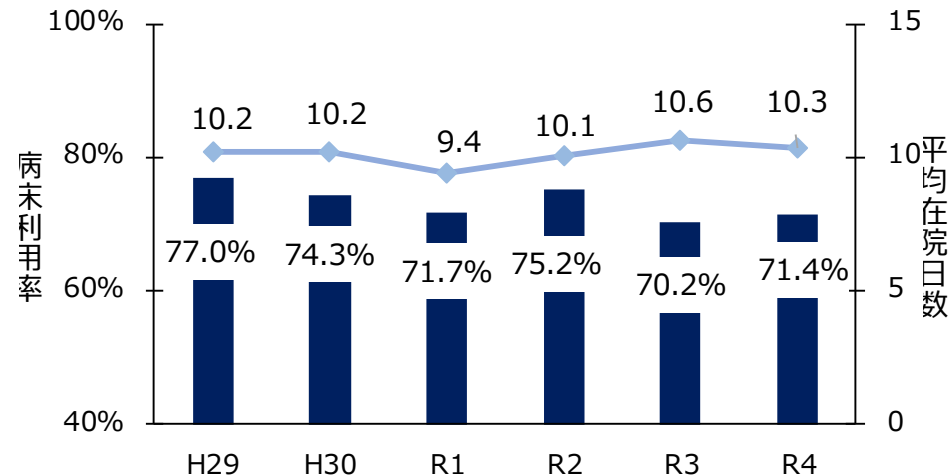
0施設 0床

【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

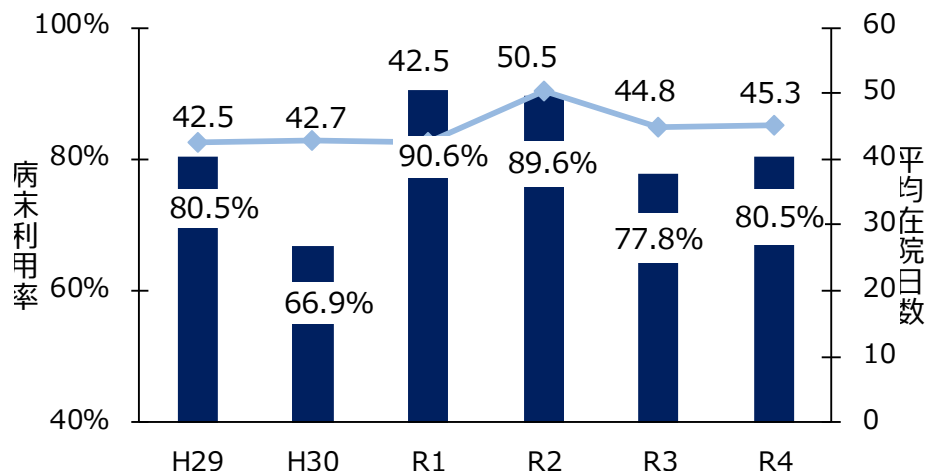
高度急性期



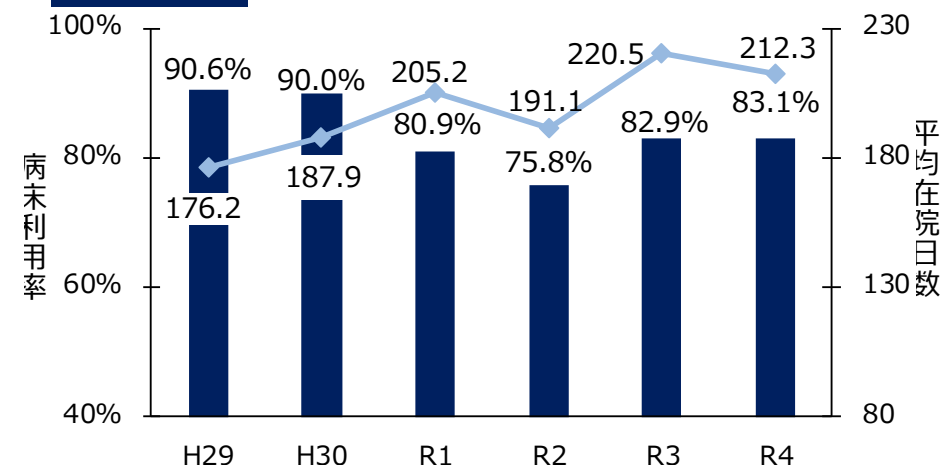
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

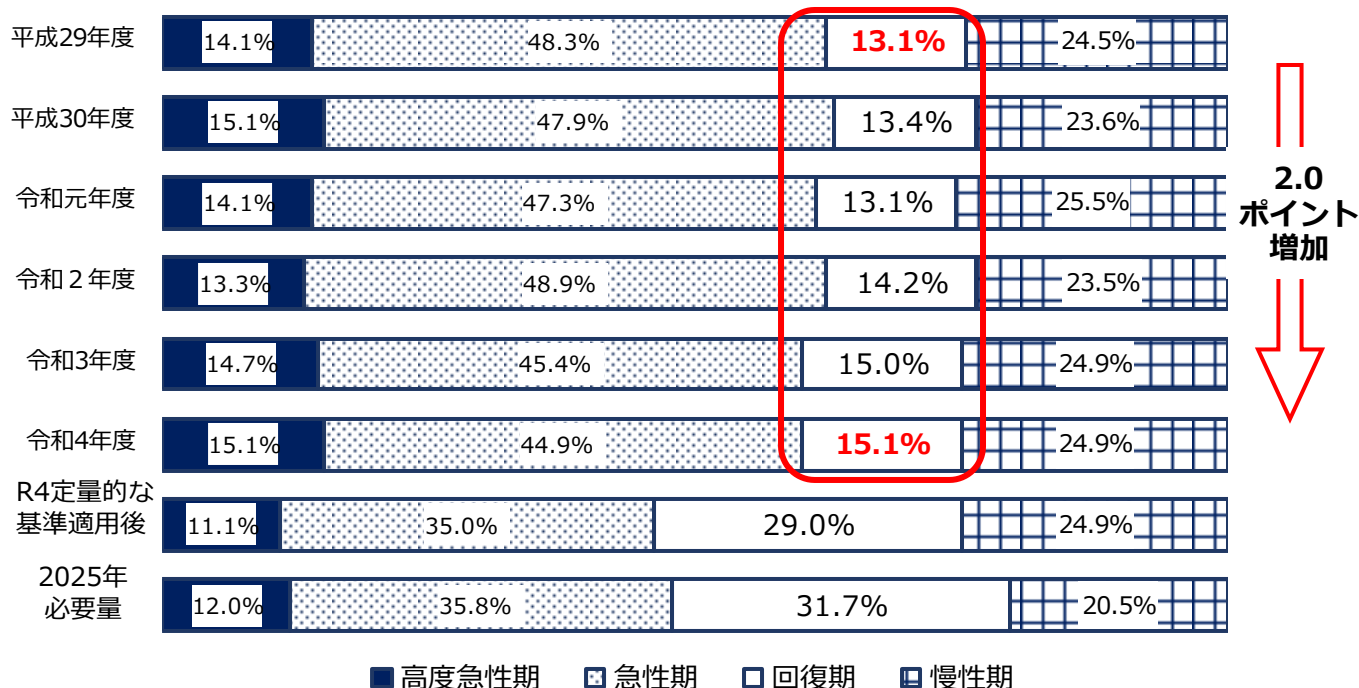
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

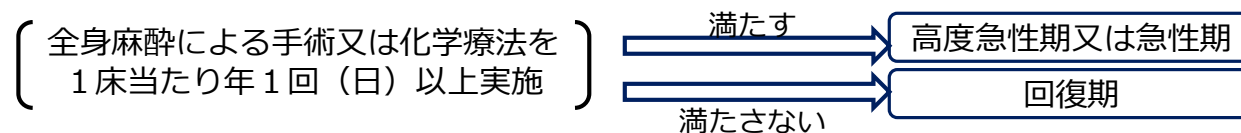
【区西北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 2.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

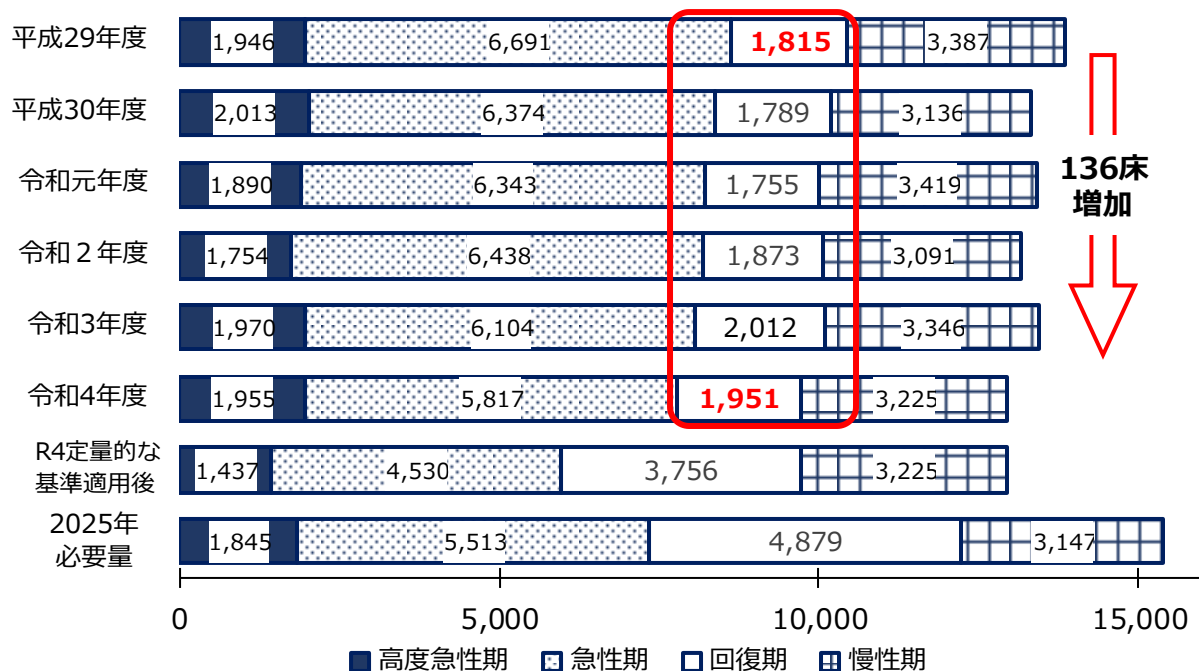


(出所) 病床機能報告より作成

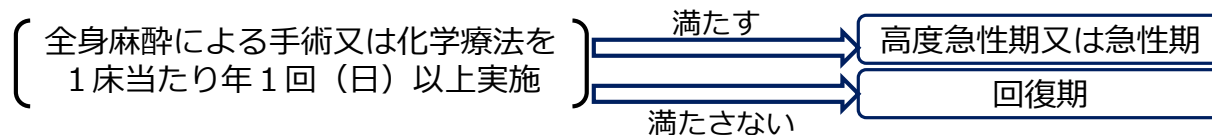
【区西北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では136床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区西北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 14床
入院料 4 2施設 38床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 8施設 66床
管理料 4 1施設 10床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 118床
管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

4施設 28床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 25床
新生児 3施設 39床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 2施設 12床

新生児治療回復室 入院医療管理料

4施設 90床

特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,637床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

12施設 3,196床

14施設4,833床

急性期一般入院料 2～6

15施設 828床

地域一般入院料

入院料1・2 8施設 445床
入院料 3 8施設 295床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 99床
入院料 2 3施設 98床
入院料 3 1施設 31床
入院料 4 0施設 0床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 9施設 769床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 1施設 110床
入院料 3 4施設 170床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 12施設 453床 入院料 3 2施設 30床
入院料 2 3施設 79床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 3施設 65床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 120床
入院料 2 6施設 519床
入院料 3 1施設 60床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 1施設 28床

有床診療所入院基本料

23施設 325床

療養病棟入院基本料

基本料 1 23施設 1,732床
基本料 2 4施設 263床

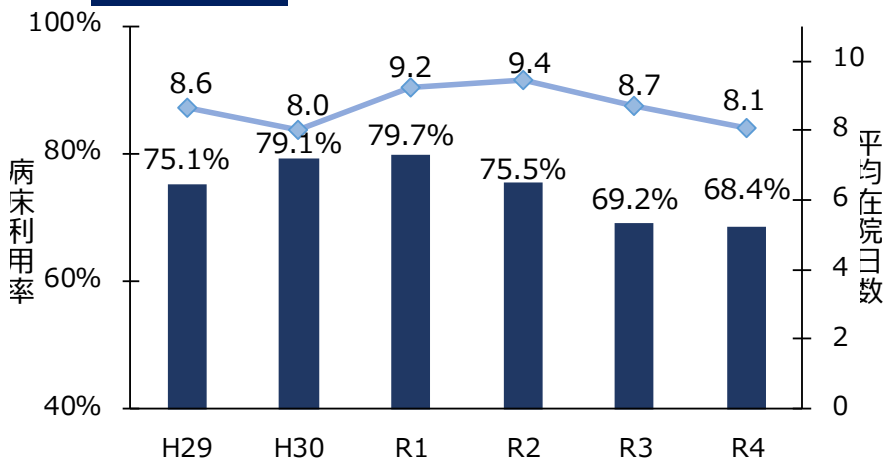
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

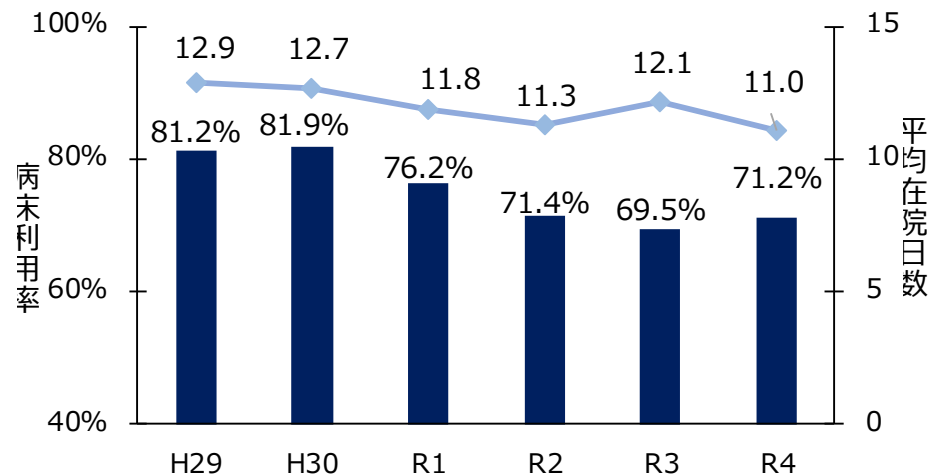
DPC/PDCS 15施設5,488床

【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

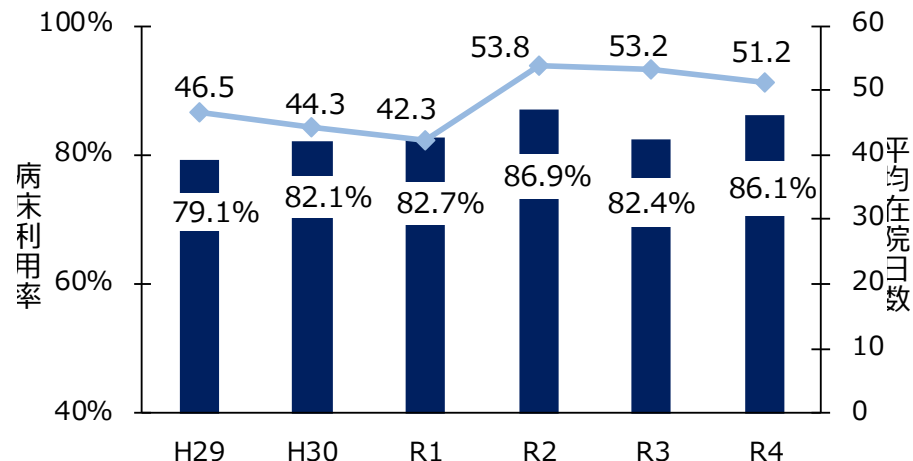
高度急性期



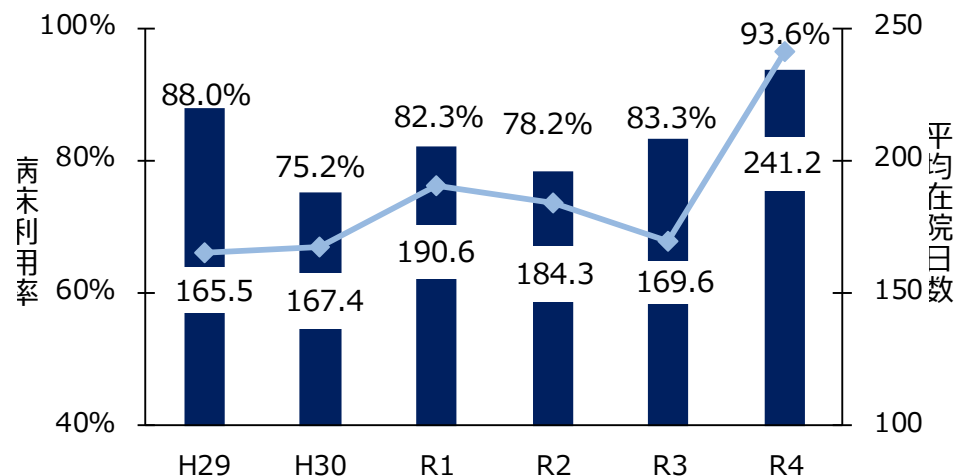
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

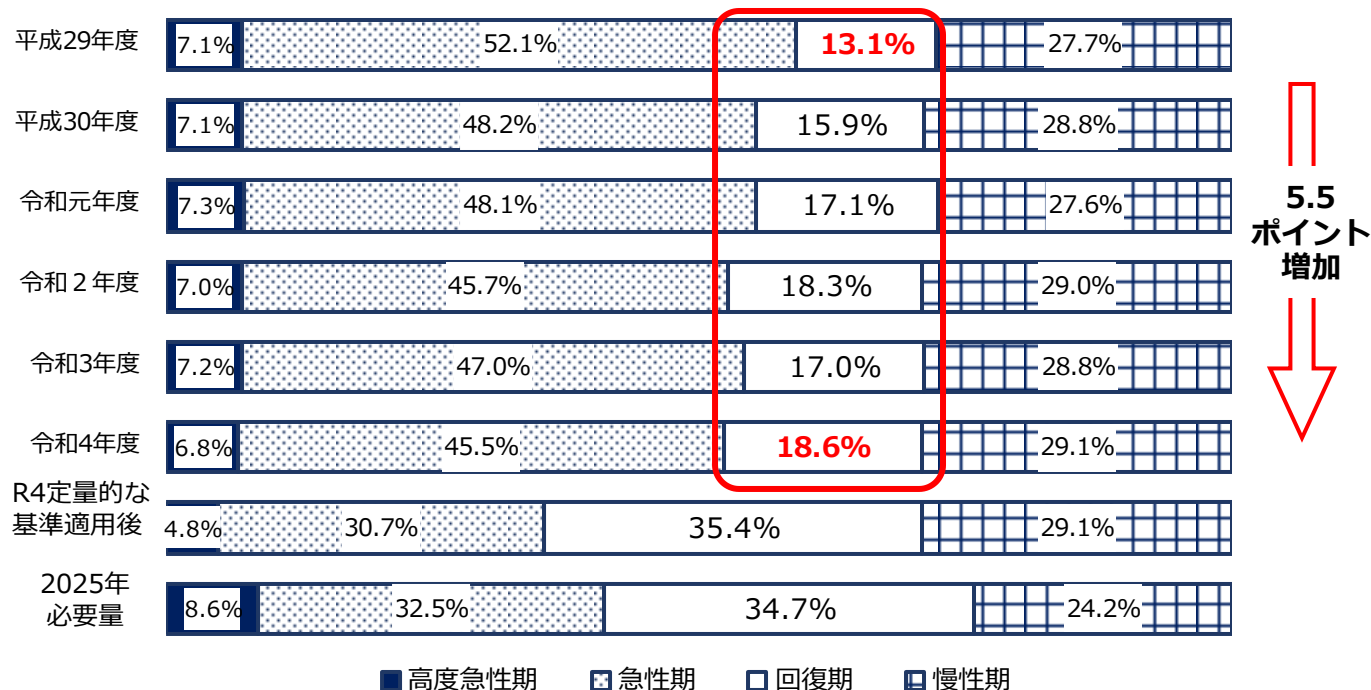
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

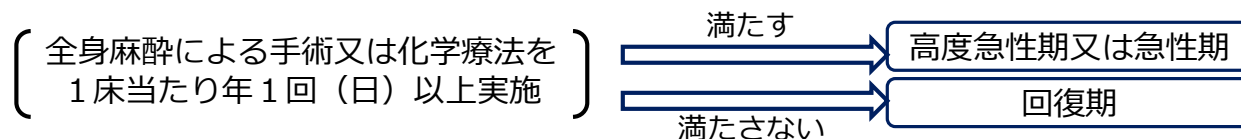
【区東北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 5.5ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

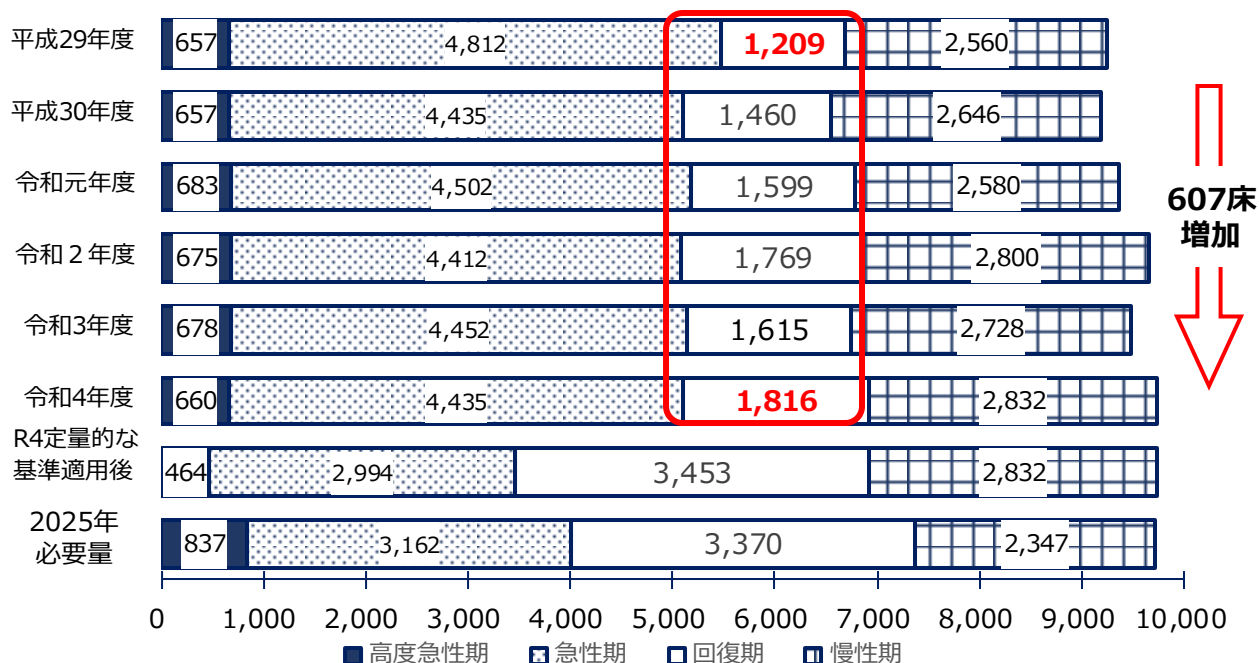


（出所）病床機能報告より作成

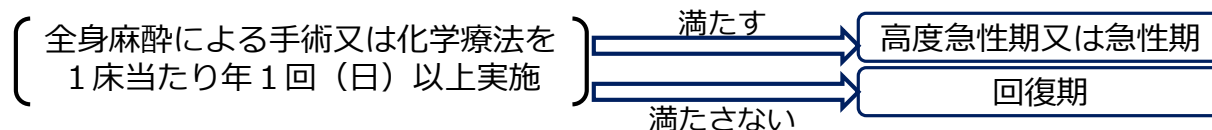
【区東北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では607床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区東北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 20床
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 12床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 4施設 32床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 8施設 84床
管理料 2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

11施設 1,893床

11施設1,893床

急性期一般入院料 2～6

27施設 1,572床

地域一般入院料

入院料 1・2 9施設 386床
入院料 3 6施設 221床

小児入院医療管理料

入院料 1 1施設 39床
入院料 2 1施設 30床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 1施設 20床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 27床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 27床
管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 36床

DPC/PDCS 12施設2,336床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 11施設 925床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 3施設 89床 入院料 6 1施設 42床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 11施設 375床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 13施設 293床 入院料 4 1施設 28床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 7施設 442床
入院料 3 2施設 181床
入院料 4 2施設 135床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

22施設 324床

療養病棟入院基本料

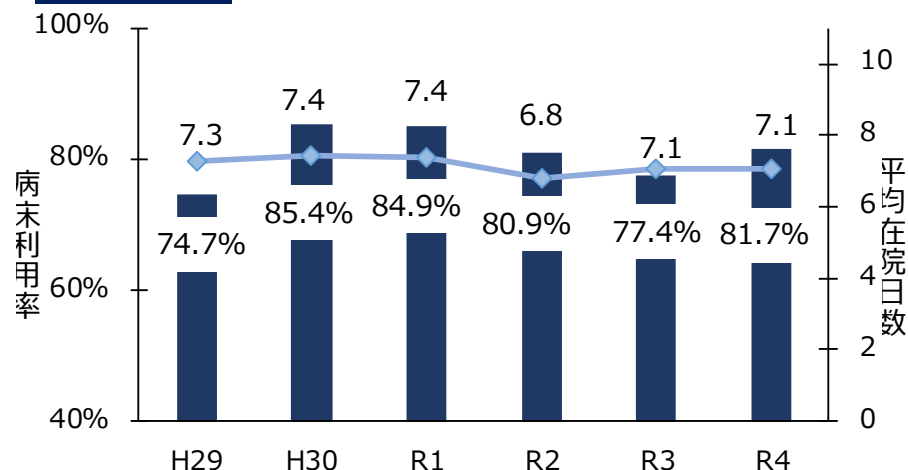
基本料 1 23施設 1,334床
基本料 2 1施設 57床

有床診療所療養病床入院基本料

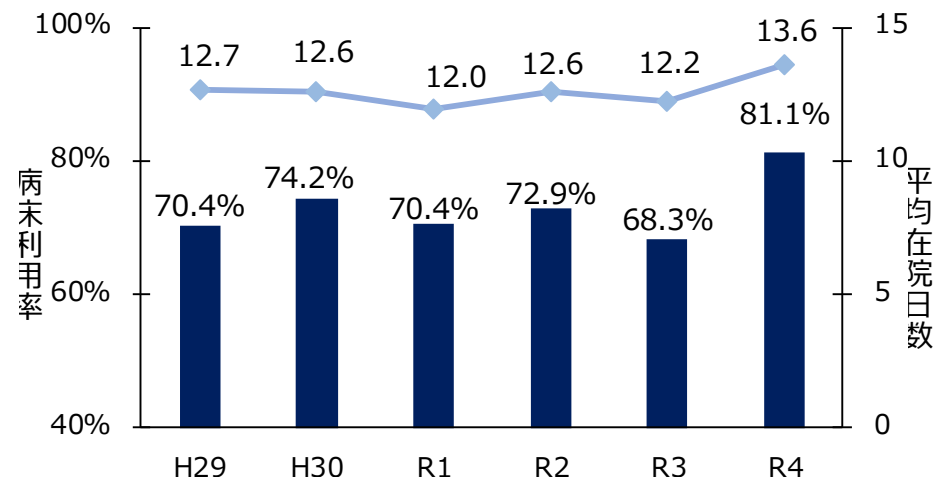
1施設 19床

【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

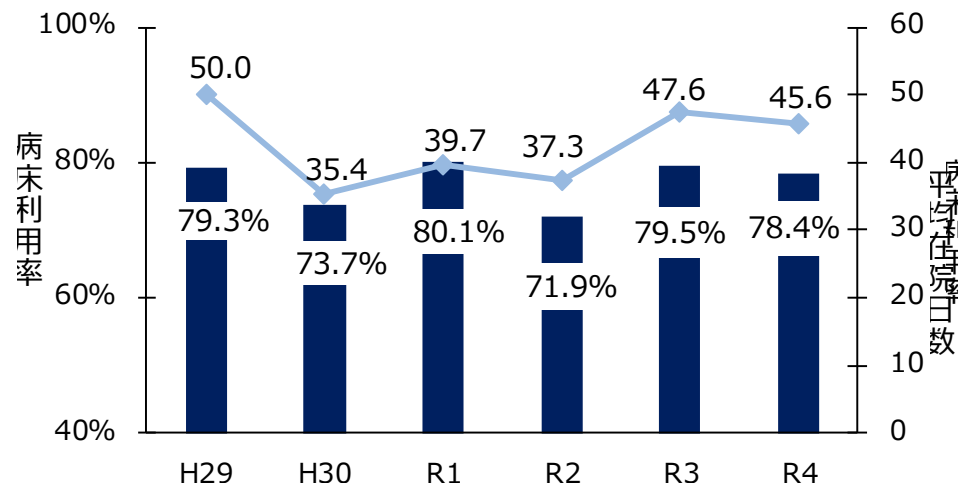
高度急性期



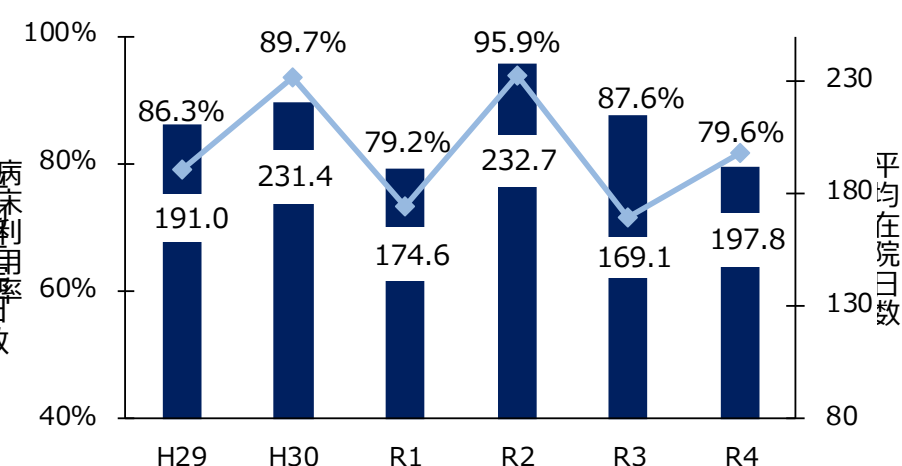
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

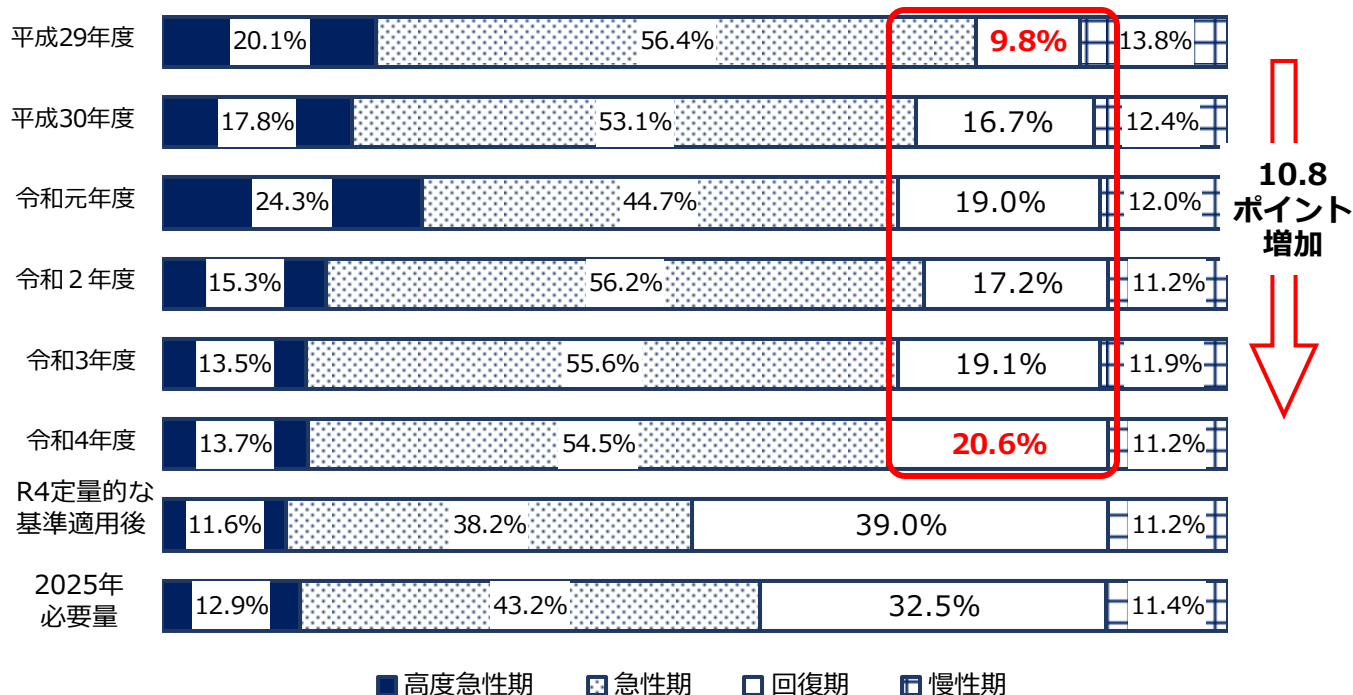
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

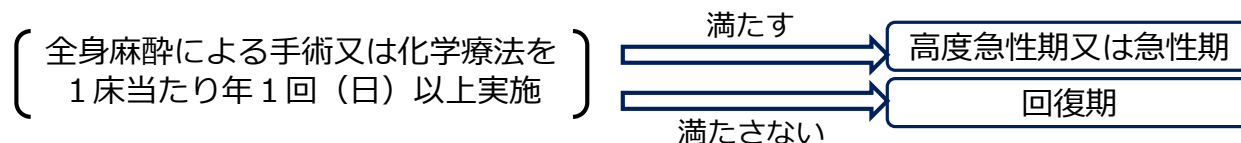
【区東部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 10.8ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

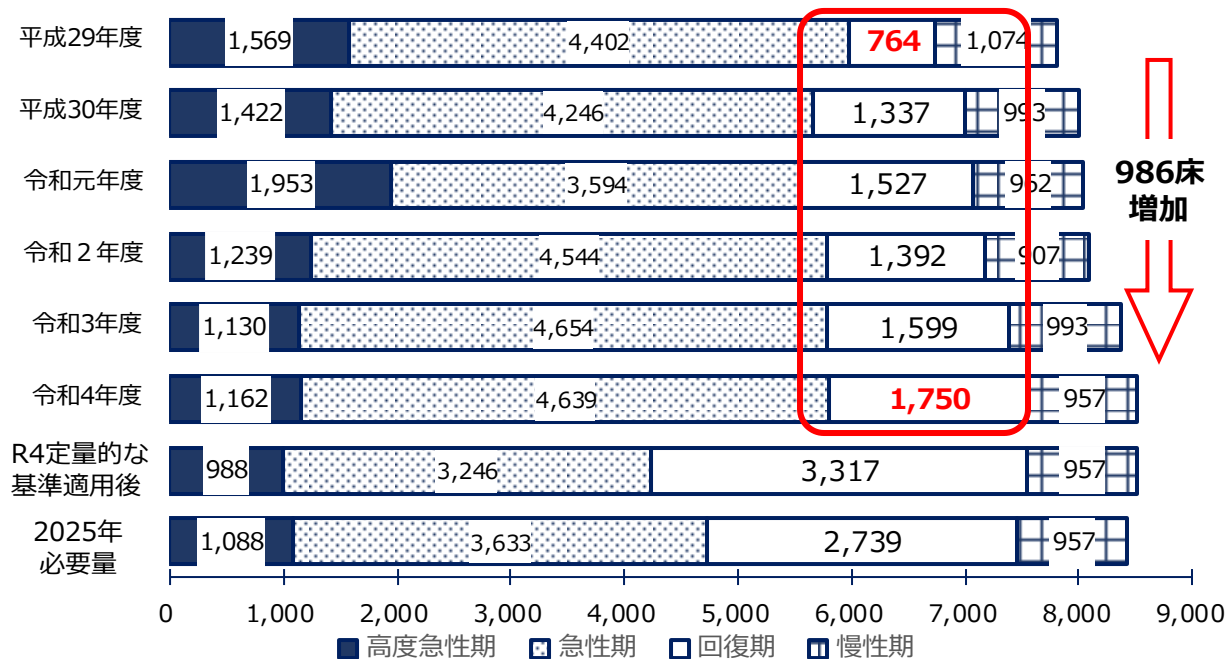


（出所）病床機能報告より作成

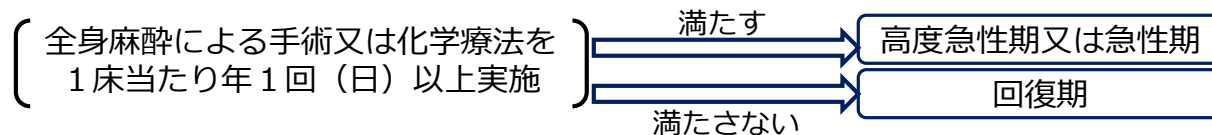
【区東部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 986床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区東部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 12床
入院料 4 1施設 12床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 28床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 3施設 26床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 67床
管理料 2 1施設 4床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 18床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 9床
新生児 1施設 16床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 1施設 15床
管理料 2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 33床

特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 651床

専門病院入院基本料

7対1 1施設 28床

急性期一般入院料 1

13施設 2,877床

15施設3,556床

急性期一般入院料 2～6

17施設 900床

地域一般入院料

入院料1・2 4施設 250床
入院料 3 3施設 129床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 3施設 102床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 2施設 20床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 4施設 624床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 1施設 60床 入院料 5 1施設 120床
入院料 3 3施設 109床 入院料 6 1施設 48床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 8施設 408床 入院料 3 1施設 28床
入院料 2 7施設 205床 入院料 4 1施設 44床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 3施設 85床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 92床
入院料 2 2施設 102床
入院料 3 1施設 31床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

16施設 220床

療養病棟入院基本料

基本料 1 11施設 542床
基本料 2 1施設 41床

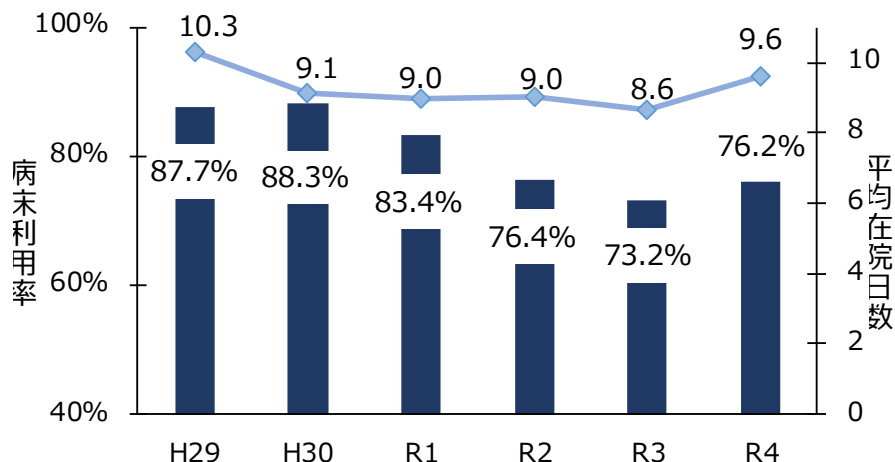
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

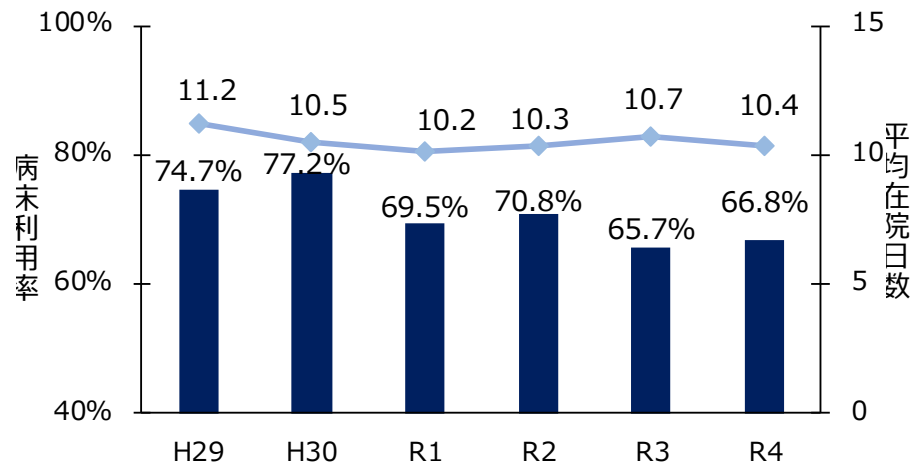
DPC/PDCS 16施設3,991床

【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

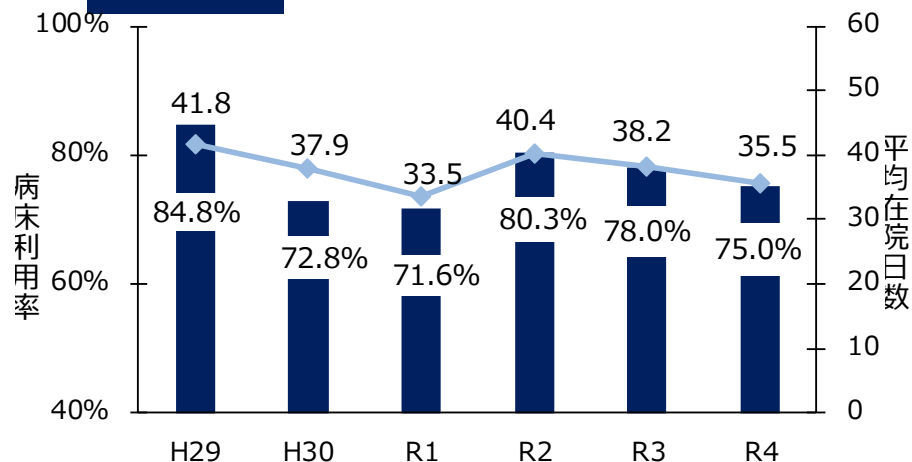
高度急性期



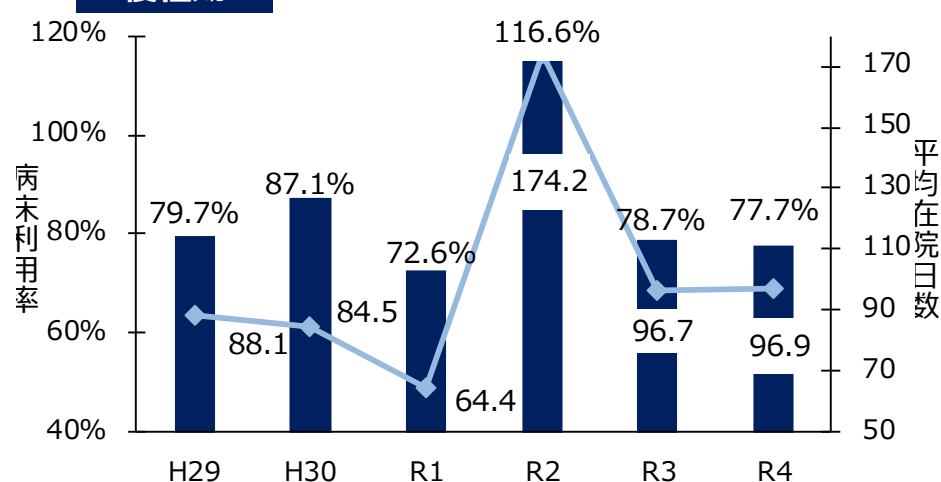
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

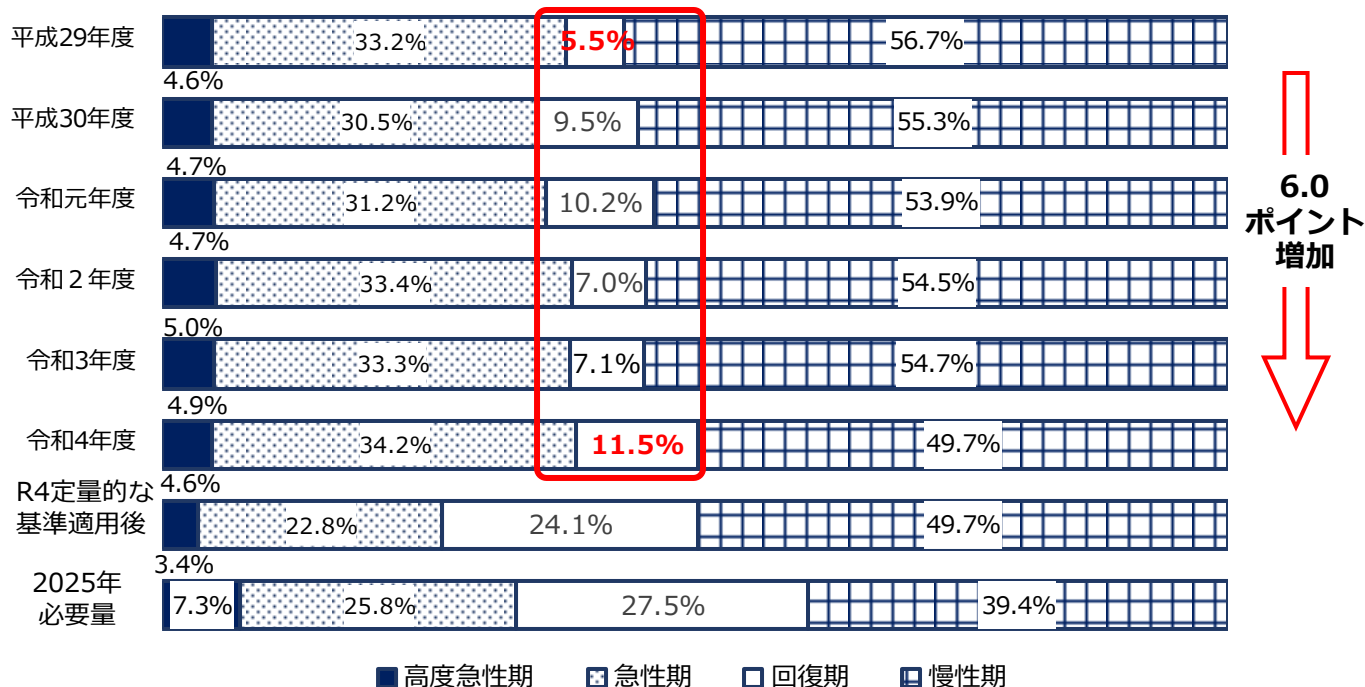
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

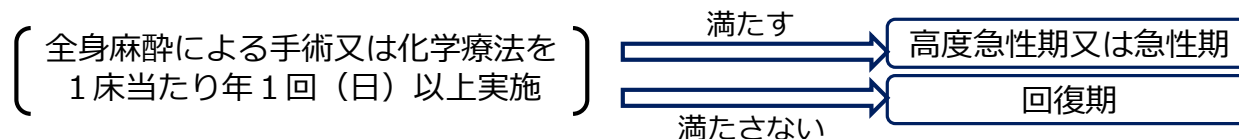
【西多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では6.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

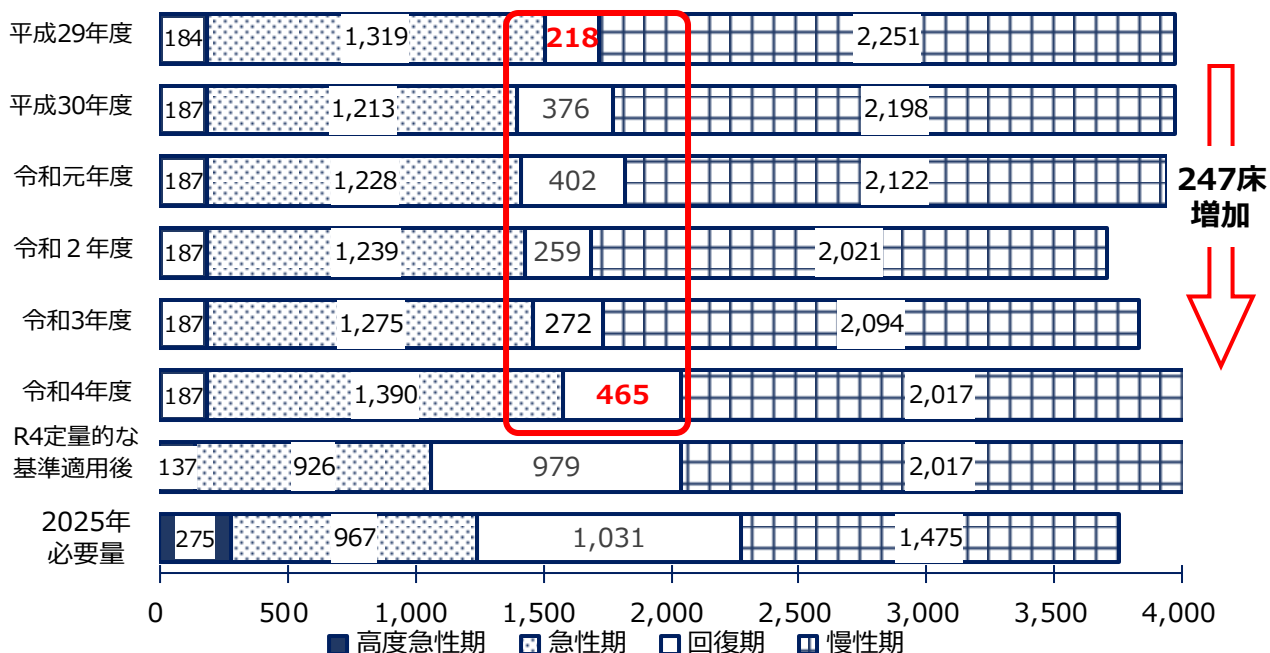


（出所）病床機能報告より作成

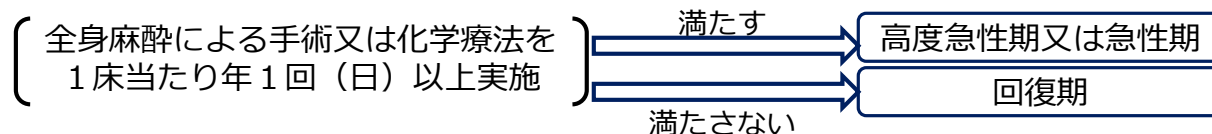
【西多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 247床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【西多摩】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 22床
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 1施設 8床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 1施設 20床
管理料 2 1施設 40床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

3施設 669床

3施設669床

急性期一般入院料 2～6

2施設 221床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 41床
入院料 3 0施設 0床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 1施設 16床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 1施設 83床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 1施設 50床 入院料 5 1施設 28床
入院料 3 2施設 61床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 152床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 1施設 43床 入院料 4 1施設 25床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 2施設 120床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

7施設 93床

療養病棟入院基本料

基本料 1 8施設 487床
基本料 2 5施設 1,054床

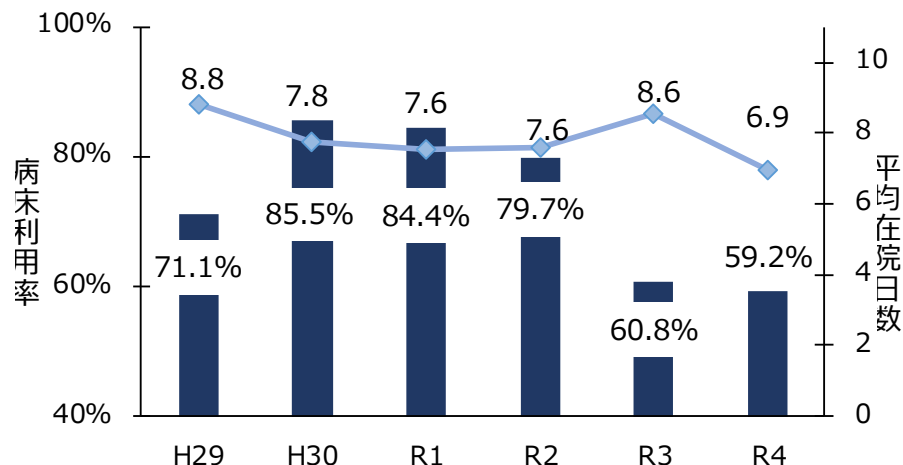
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

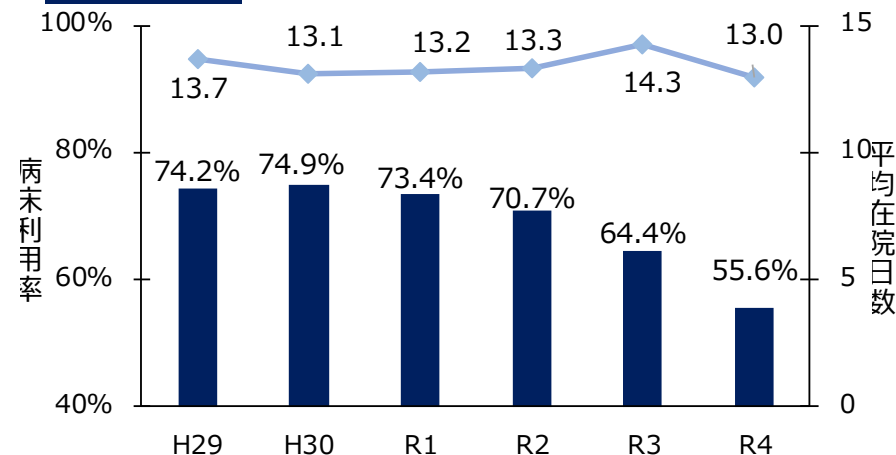
DPC/PDCS 4施設895床

【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

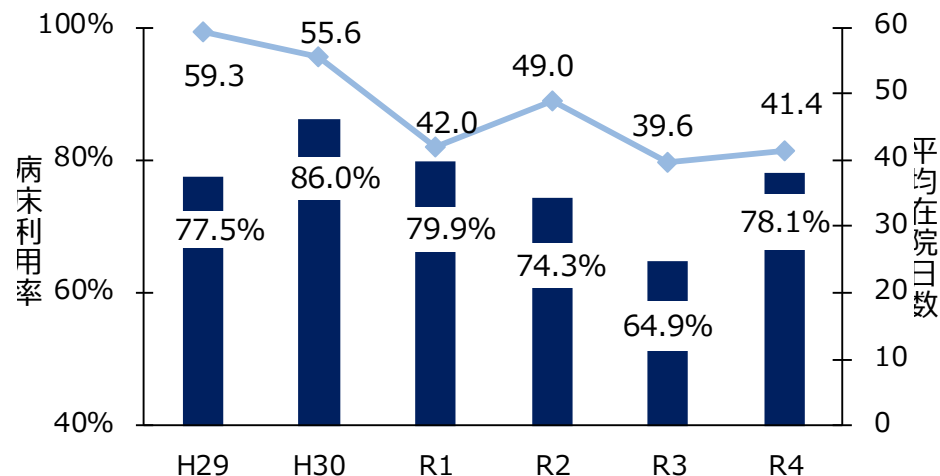
高度急性期



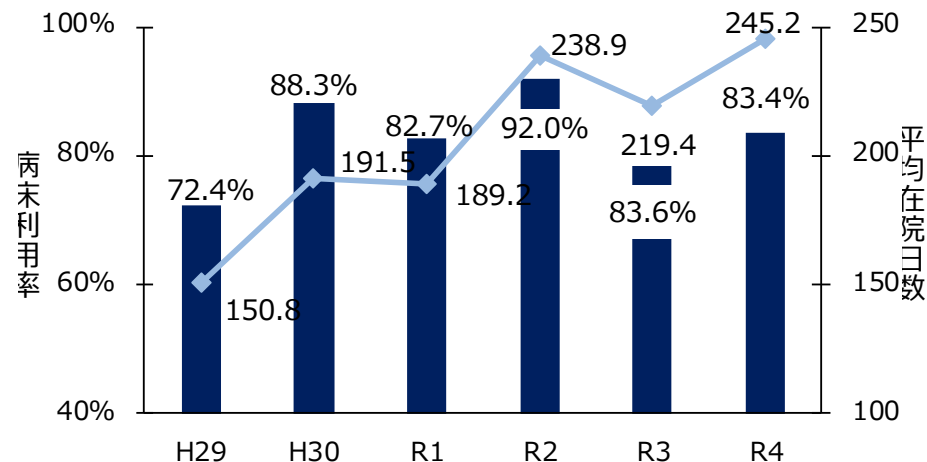
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{許可病床数} \times \text{年間日数})} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{新規入棟患者数} + \text{退棟患者数}) \times 1/2}$

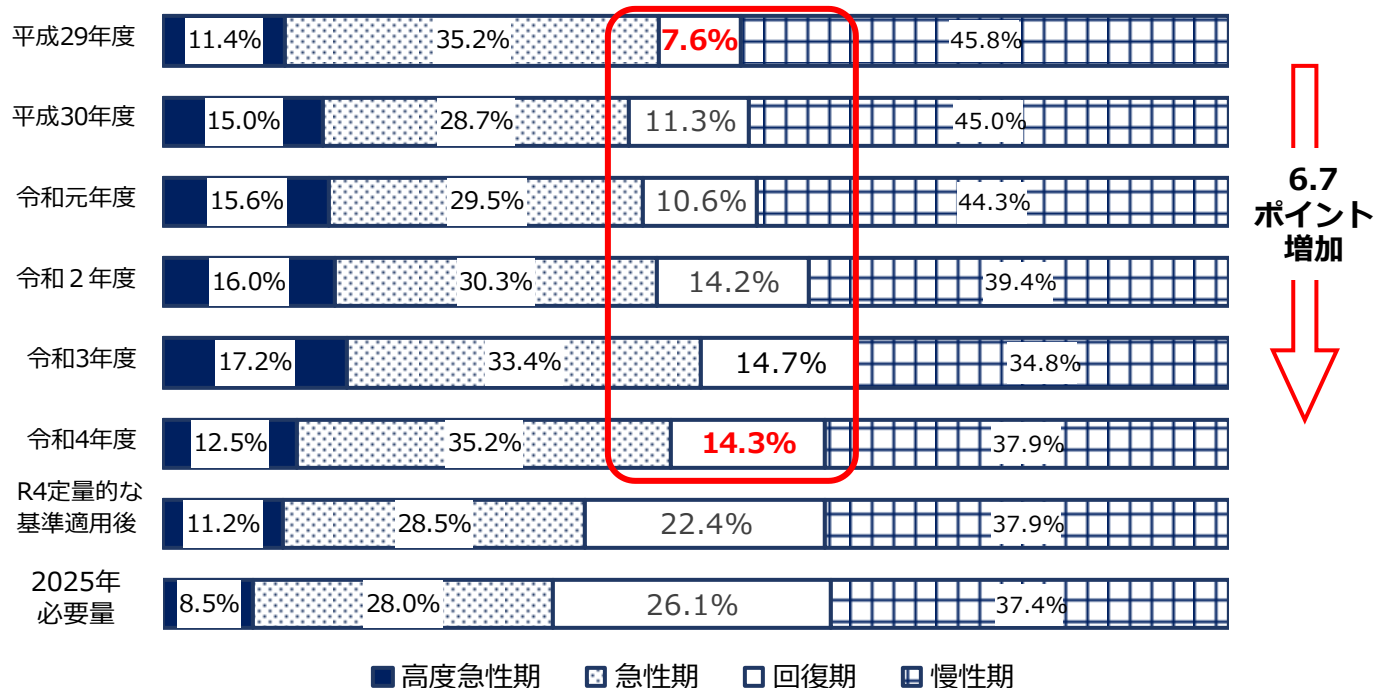
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

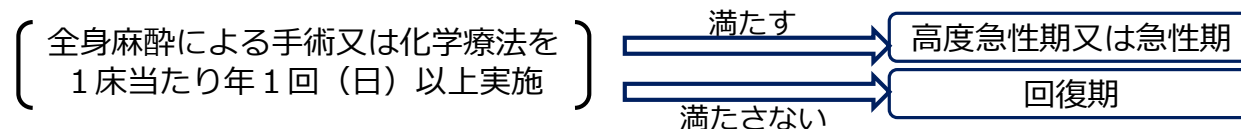
【南多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 6.7ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

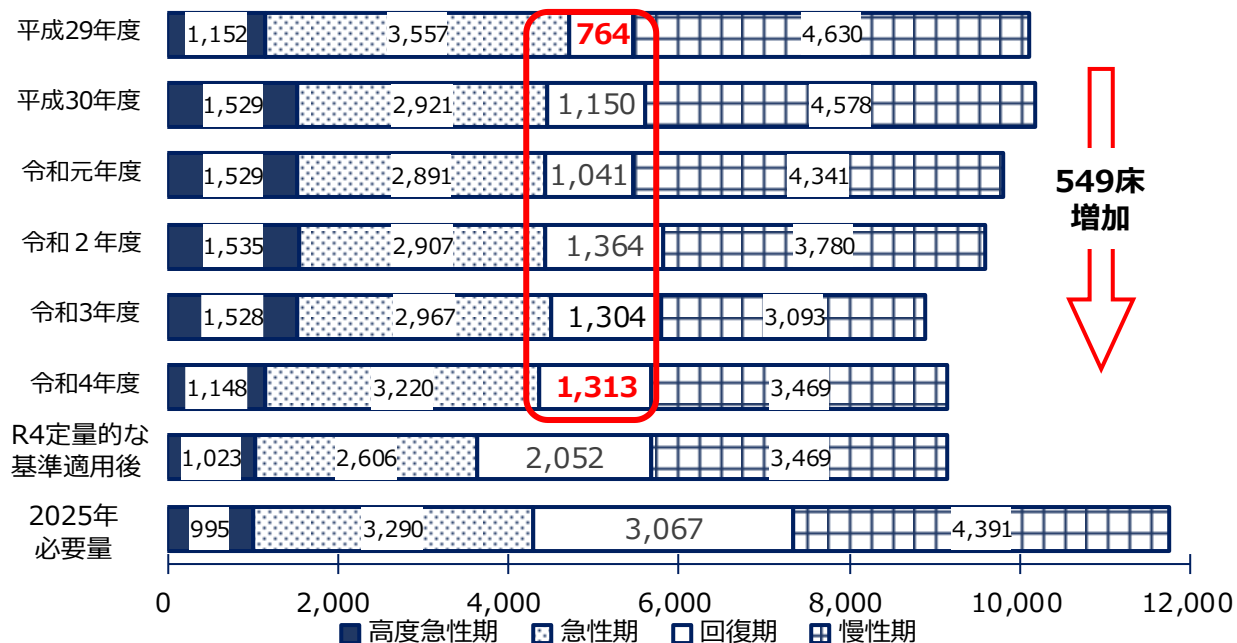


（出所）病床機能報告より作成

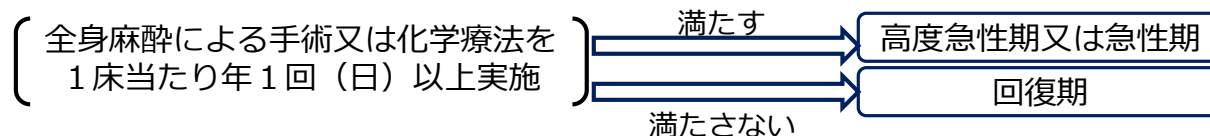
【南多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 549 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【南多摩】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床
入院料 4 2施設 22床
入院料 1 2施設 37床
入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 1施設 6床
管理料 3 3施設 14床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 44床
管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 2施設 9床

新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

11施設 2,749床

11施設2,749床

急性期一般入院料 2～6

13施設 778床

地域一般入院料

入院料 1・2 0施設 0床
入院料 3 2施設 76床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 3施設 81床
入院料 4 5施設 90床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 11施設 629床
入院料 2 2施設 89床
入院料 3 1施設 25床
入院料 4 1施設 30床
入院料 5 0施設 0床
入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 10施設 444床
入院料 2 5施設 171床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 29床
入院料 2 2施設 41床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 8施設 713床
入院料 3 1施設 60床
入院料 4 1施設 149床

特殊疾患病棟入院料

入院料 1 1施設 48床
入院料 2 0施設 0床

有床診療所入院基本料

20施設 282床

療養病棟入院基本料

基本料 1 21施設 1,863床
基本料 2 1施設 180床

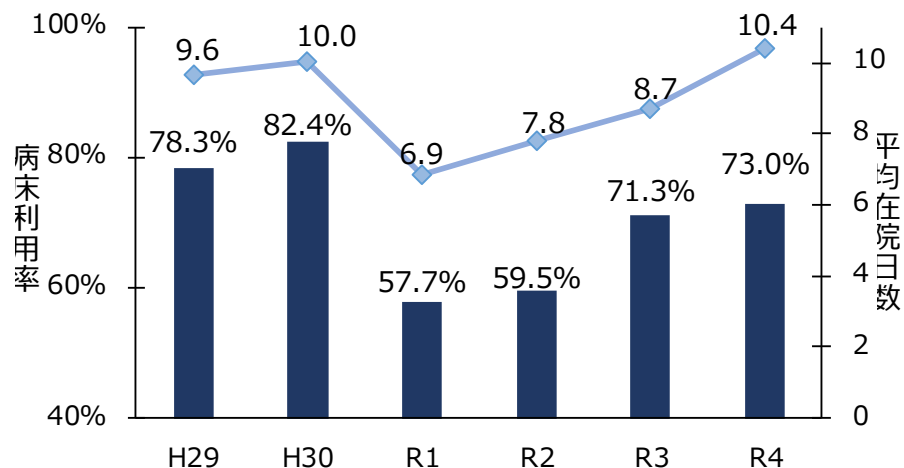
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

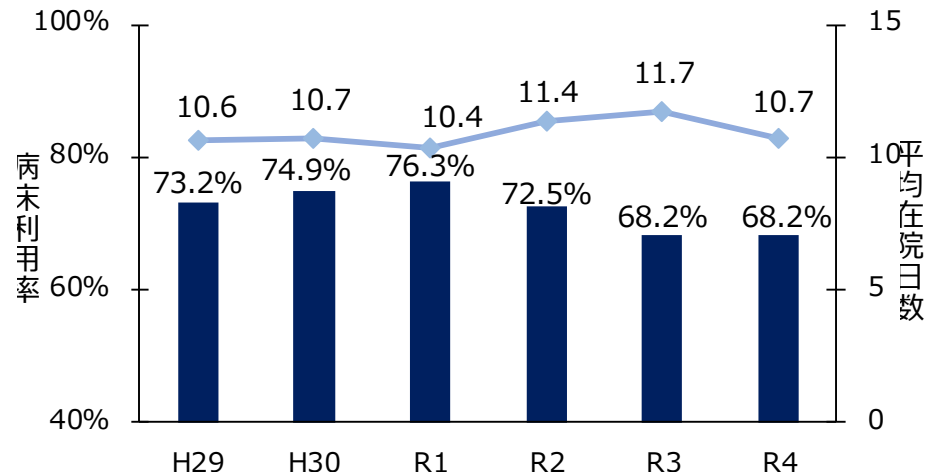
DPC/PDCS 12施設3,002床

【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

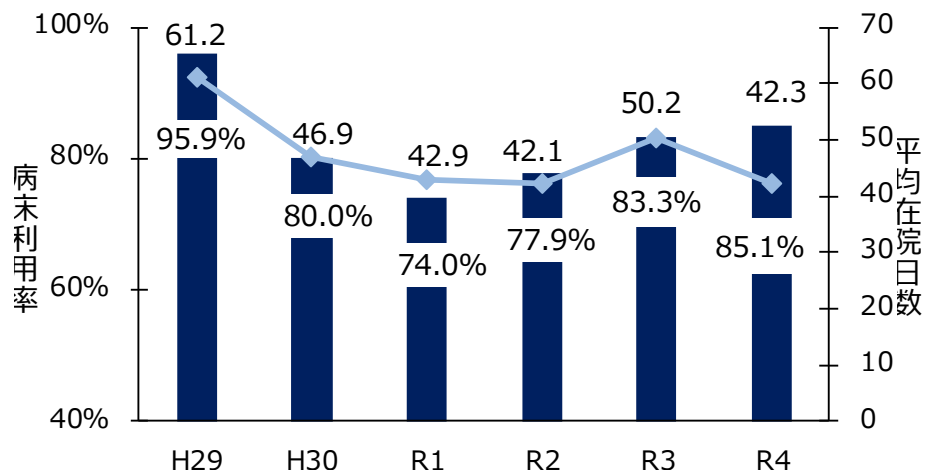
高度急性期



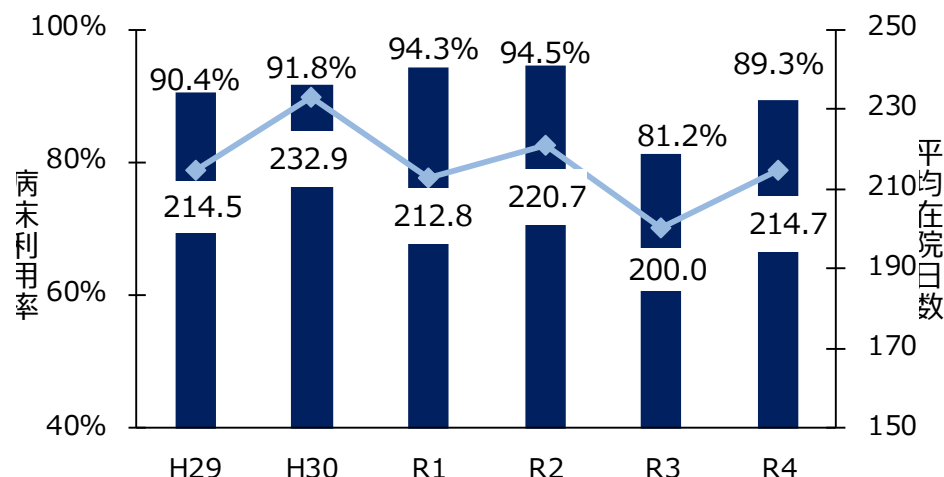
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

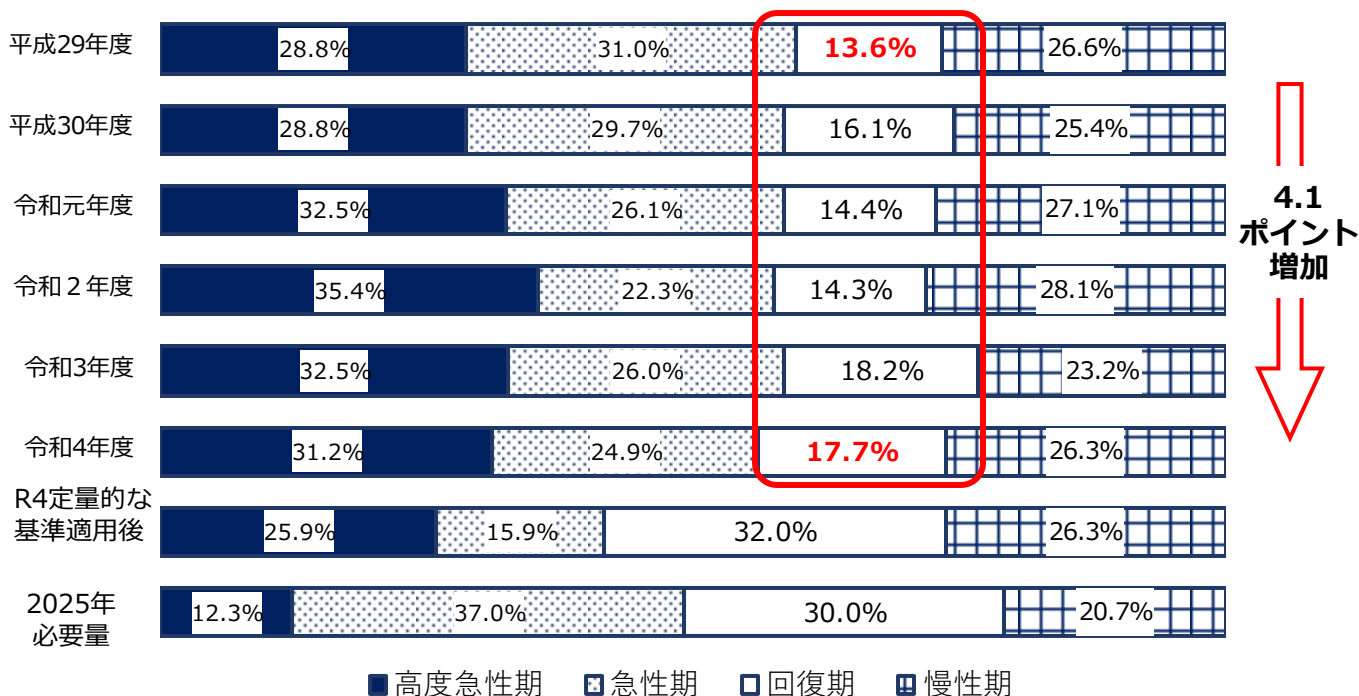
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

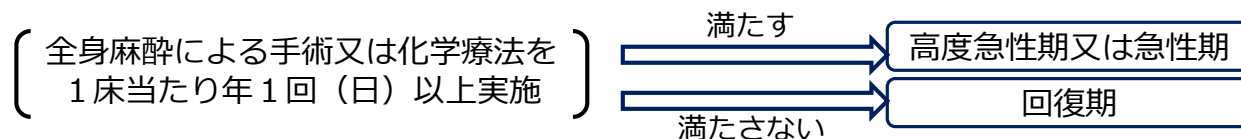
【北多摩西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 4.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

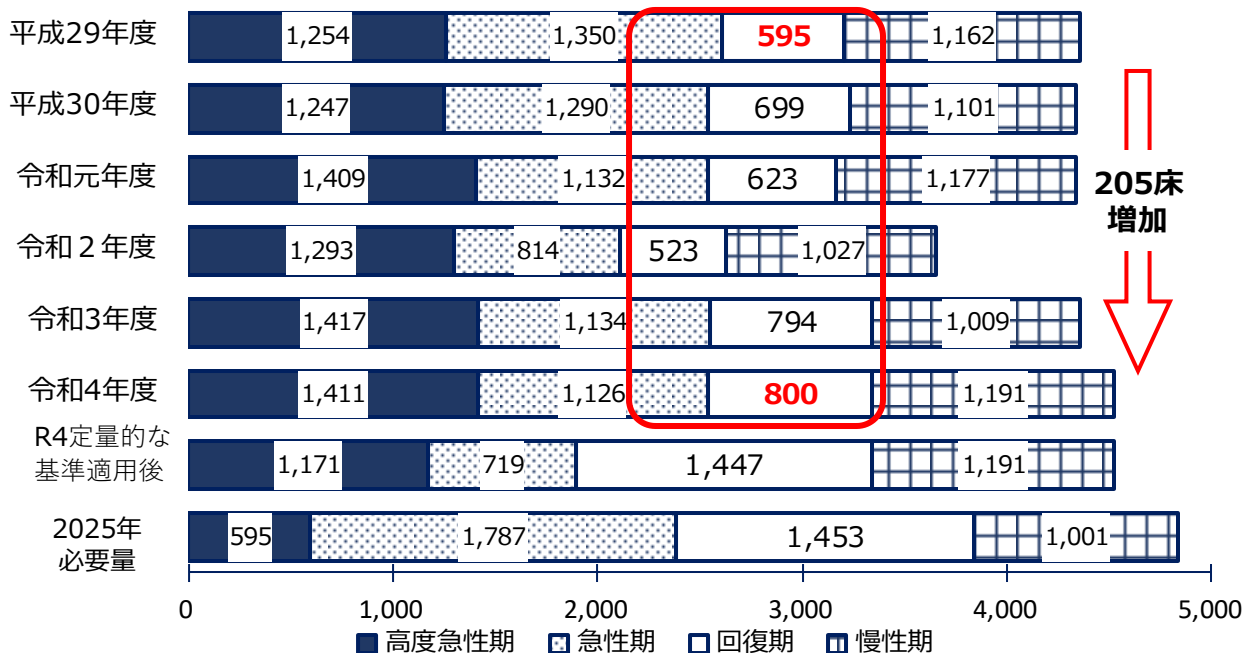


（出所）病床機能報告より作成

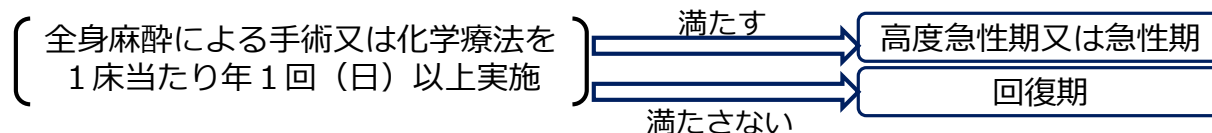
【北多摩西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 205床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 14床 入院料 1 1施設 22床
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 2施設 11床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット
入院医療管理料

管理料 1 6施設 88床
管理料 2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

8施設 1,602床

8施設 1,602床

急性期一般入院料 2～6

6施設 427床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 44床
入院料 3 0施設 0床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 1施設 24床
入院料 4 2施設 43床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 4施設 172床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 2施設 86床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 4施設 194床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 4施設 178床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 3施設 332床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

入院料 1 1施設 32床
入院料 2 0施設 0床

有床診療所入院基本料

8施設 111床

療養病棟入院基本料

基本料 1 7施設 528床
基本料 2 1施設 60床

有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

小児特定集中
治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット
入院医療管理料

2施設 15床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室
管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 1施設 6床

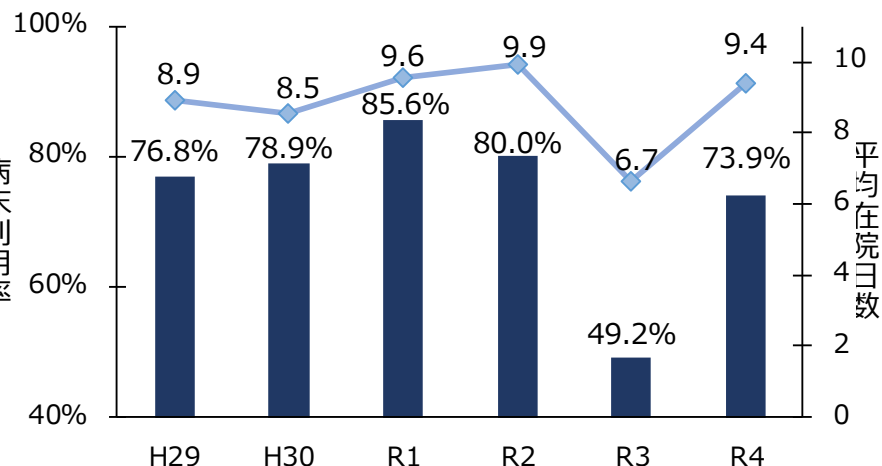
新生児治療回復室
入院医療管理料

0施設 0床

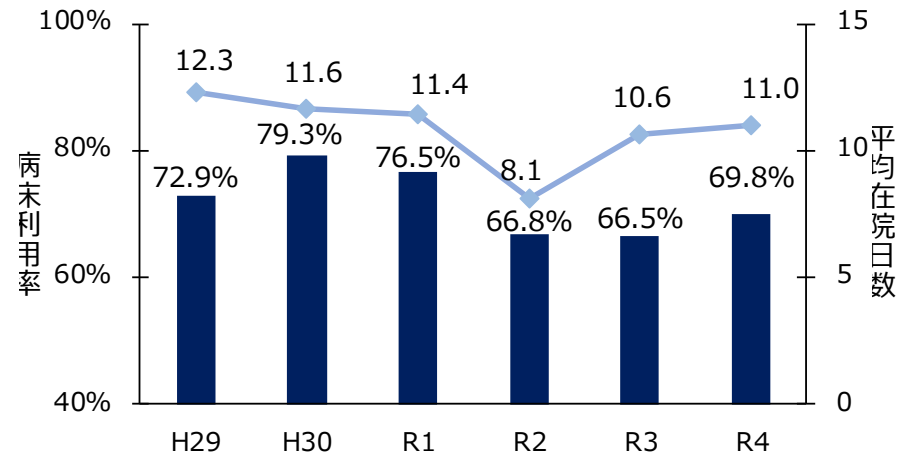
DPC/PDCS 9施設 2,008床

【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

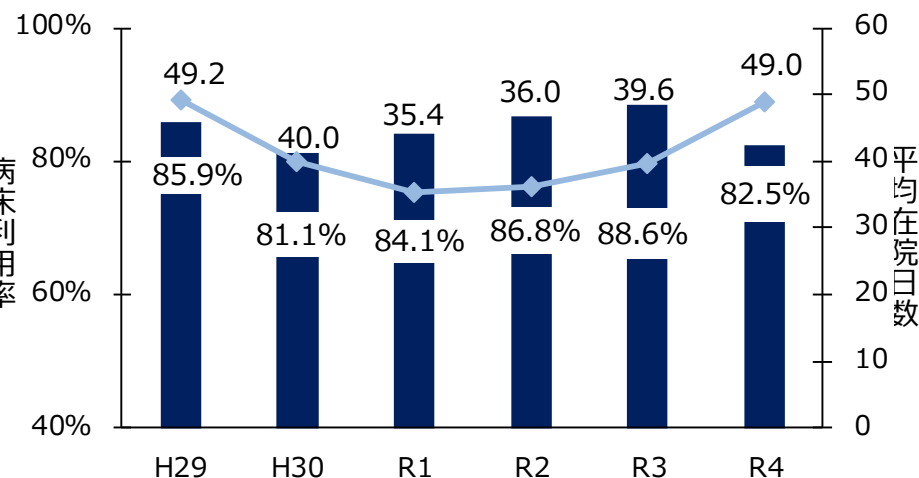
高度急性期



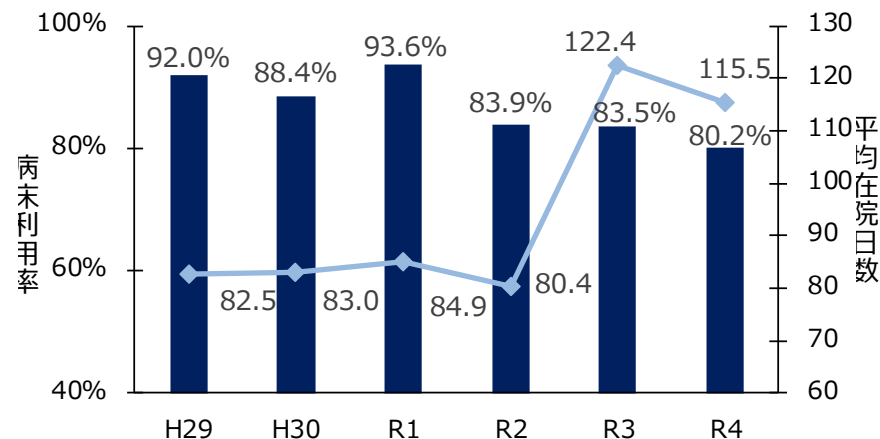
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

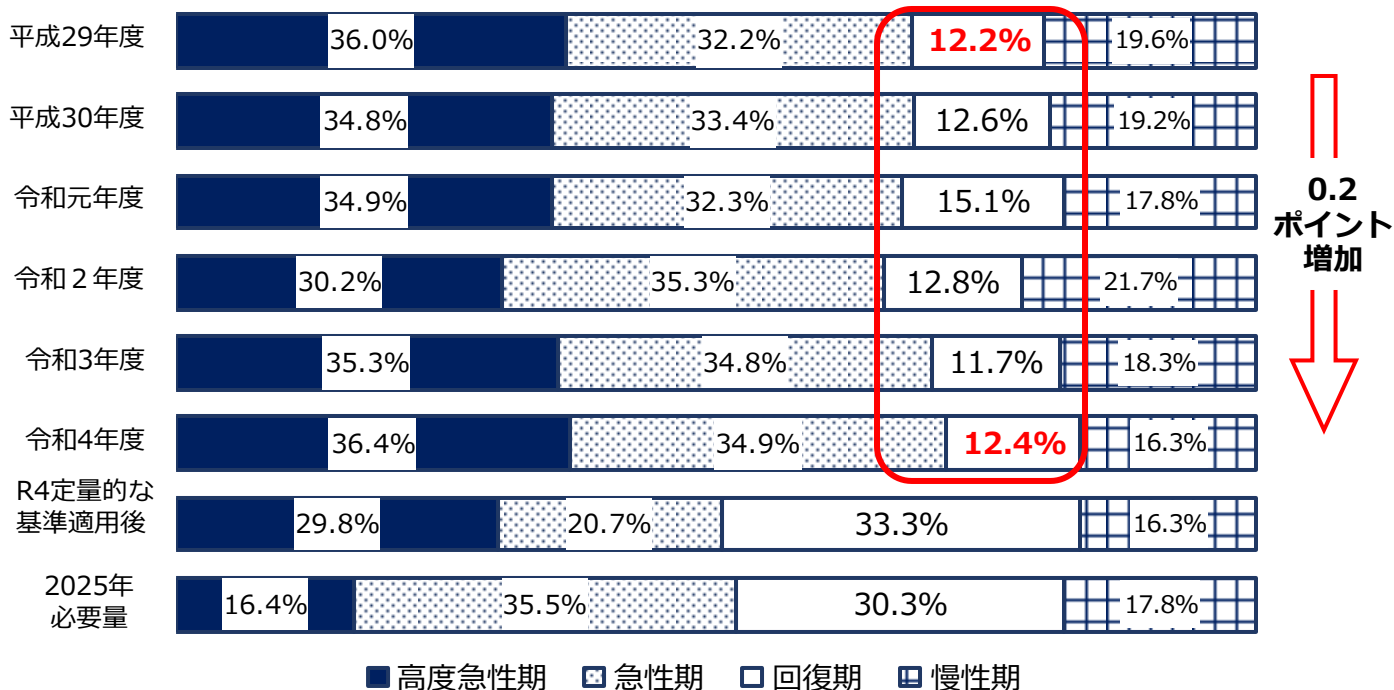
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

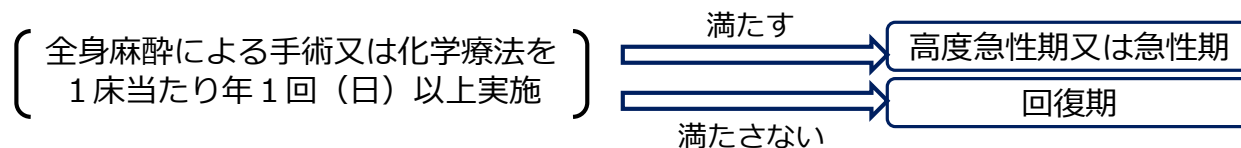
【北多摩南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度まで、ほぼ横ばい～微増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

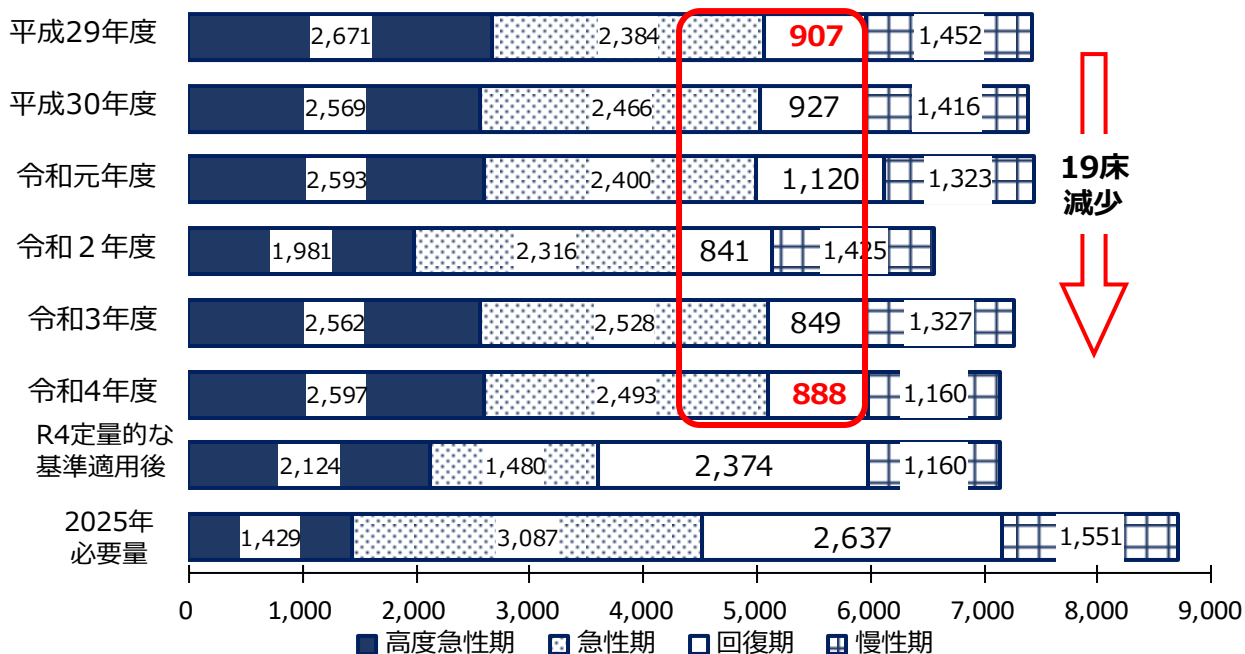


（出所）病床機能報告より作成

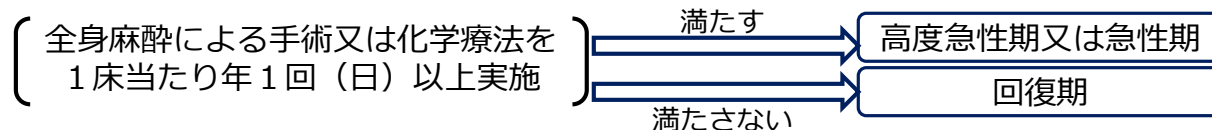
【北多摩南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度まで、横ばい～微減で推移

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩南部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 14床
入院料 4 3施設 44床 入院料 3 1施設 22床

特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 68床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 4施設 32床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 4施設 49床
管理料 2 1施設 10床

小児特定集中 治療室管理料

1施設 20床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 19床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 21床
新生児 2施設 39床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 12床
管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

3施設 84床

特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 789床

専門病院入院基本料

7対1 1施設 44床

急性期一般入院料 1

10施設 2,383床

12施設3,216床

急性期一般入院料 2～6

9施設 692床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 20床
入院料 3 3施設 135床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 274床
入院料 2 2施設 85床
入院料 3 1施設 32床
入院料 4 1施設 10床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 6施設 461床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 1施設 29床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 6施設 200床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 3施設 78床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 12床
入院料 2 1施設 20床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 260床
入院料 2 4施設 351床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

11施設 103床

療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 530床
基本料 2 1施設 22床

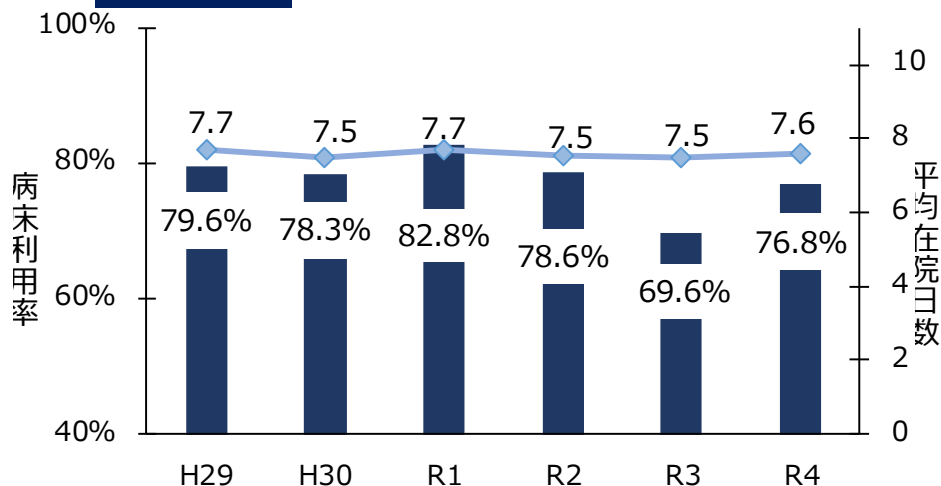
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

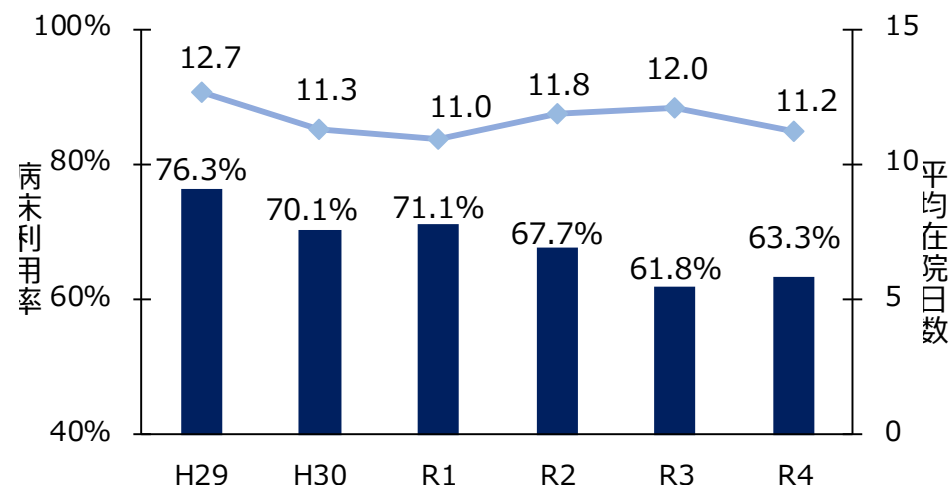
DPC/PDCS 10施設3,903床

【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

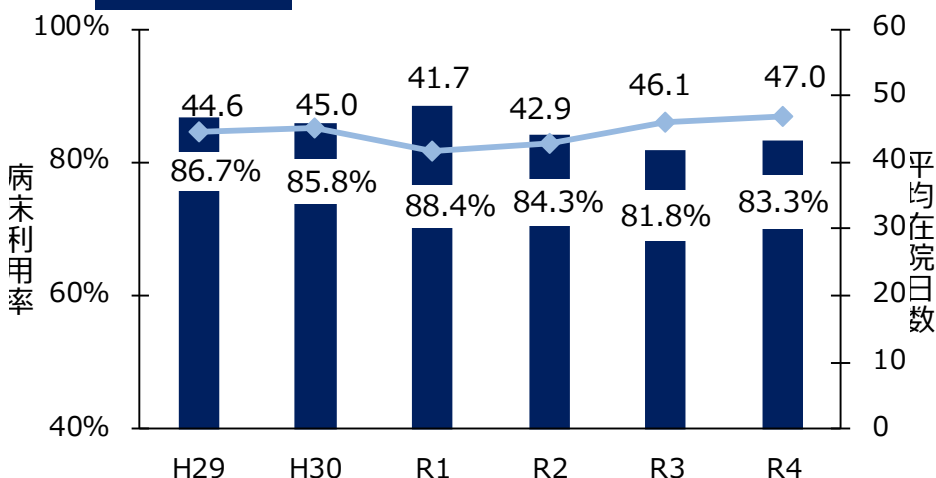
高度急性期



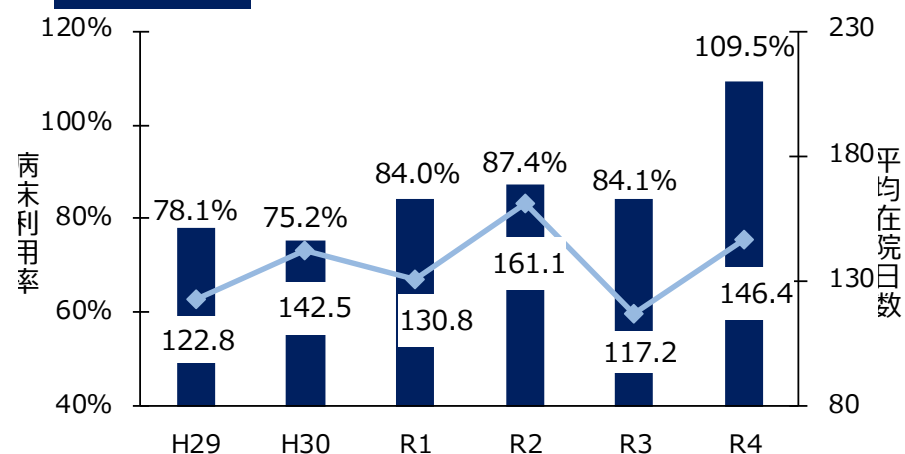
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

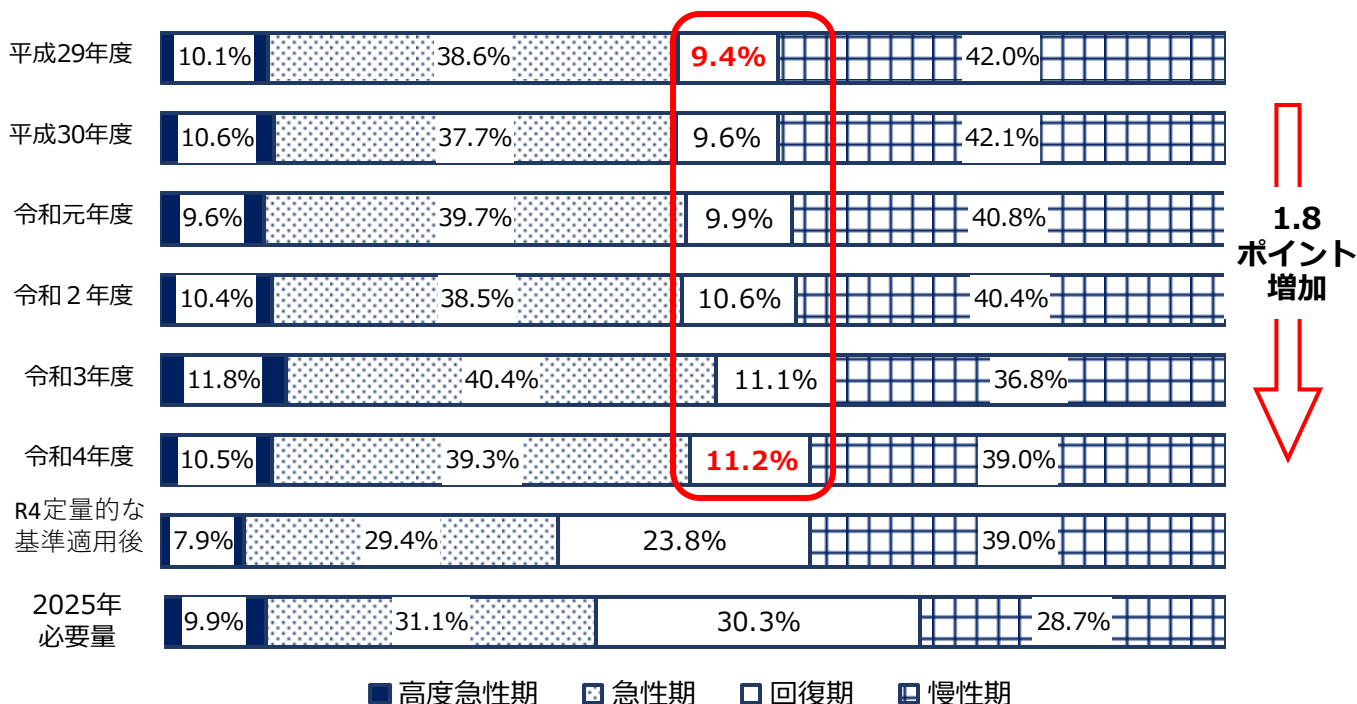
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

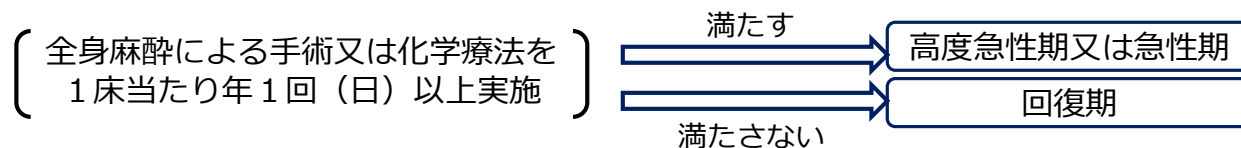
【北多摩北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和4年度では 1.8ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

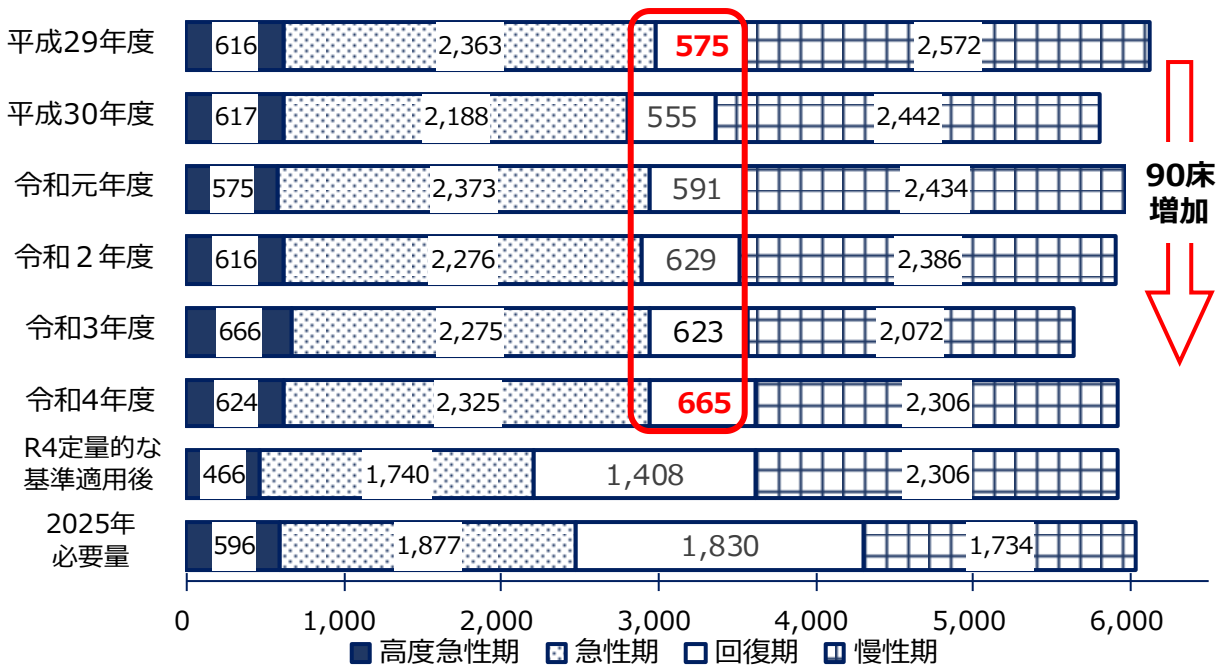


（出所）病床機能報告より作成

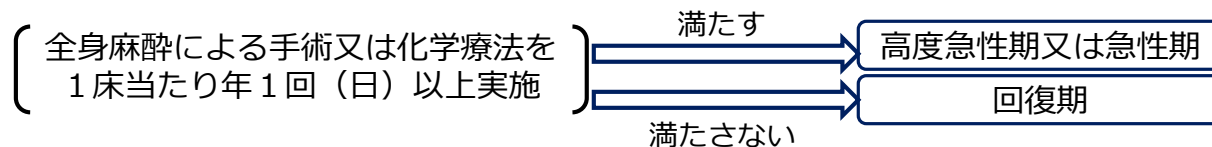
【北多摩北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和4年度では 90床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和4年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 20床
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 8床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 0施設 0床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 40床
管理料 2 2施設 20床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 3床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 12床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

7施設 1,354床

7施設1,354床

急性期一般入院料 2～6

7施設 912床

地域一般入院料

入院料1・2 4施設 158床
入院料 3 3施設 106床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 2施設 58床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 4施設 209床 入院料 4 2施設 100床
入院料 2 2施設 104床 入院料 5 1施設 16床
入院料 3 1施設 33床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 5施設 130床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 2施設 24床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 40床
入院料 2 2施設 51床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 195床
入院料 2 5施設 320床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

6施設 97床

療養病棟入院基本料

基本料 1 11施設 1,031床
基本料 2 0施設 0床

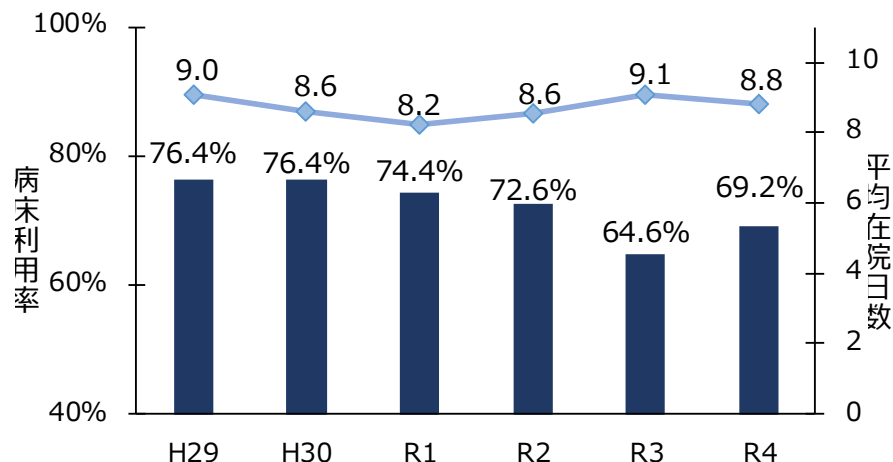
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

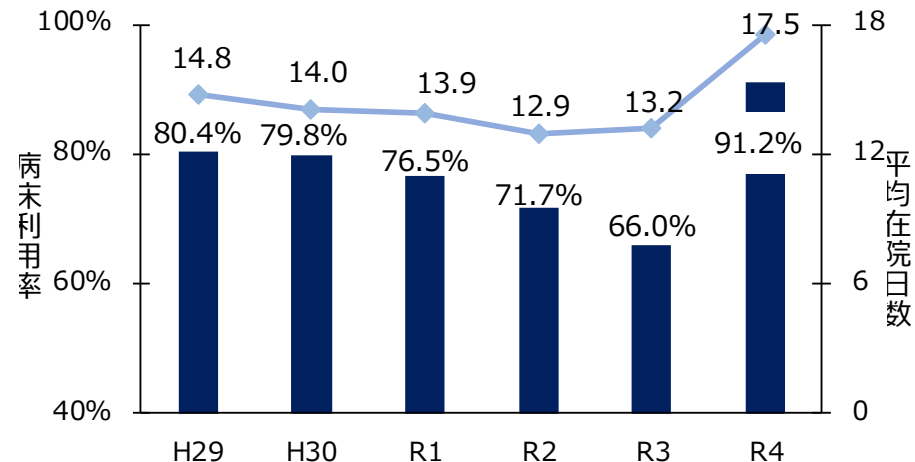
DPC/PDCS 9施設2,121床

【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

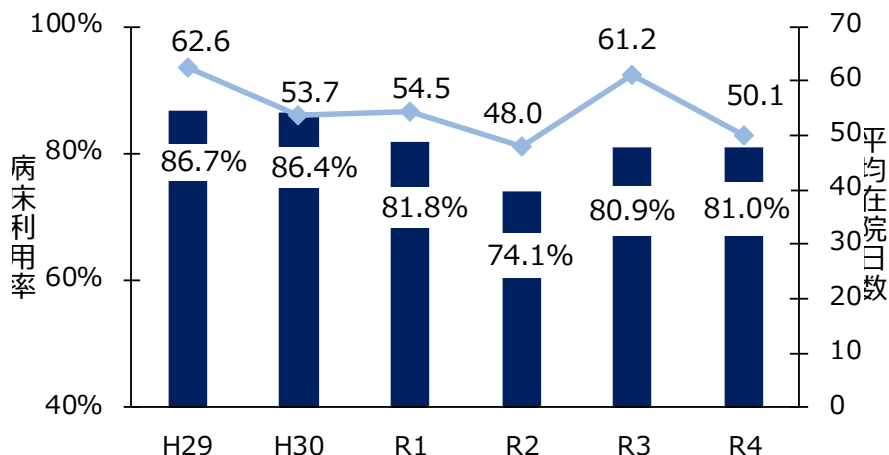
高度急性期



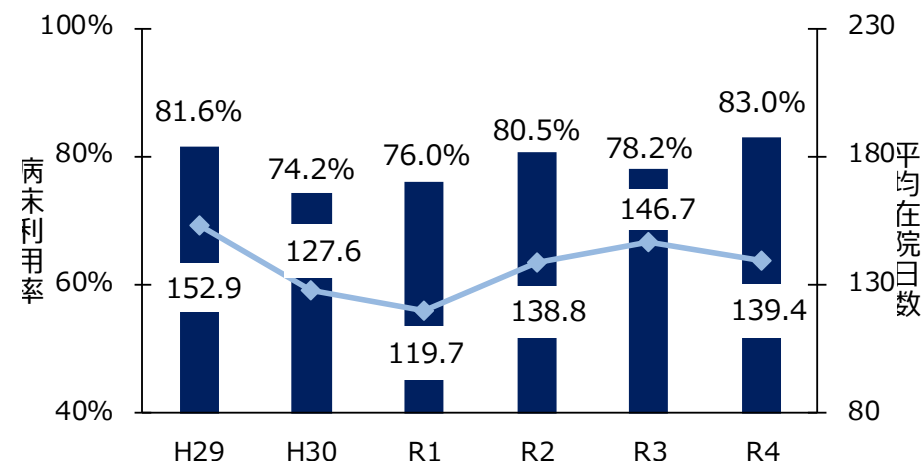
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度・令和4年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成